

今後の洲本市立小・中学校についての アンケート調査

1 調査目的

児童生徒数の減少及び教育環境等の変化をふまえ、今後の学校のあり方について検討していく基礎資料とするため

2 調査方法

広報冊子（市内全戸配布）記載アドレスからインターネットアンケートとして実施
※窓口3カ所（教育総務課、五色庁舎、由良支所）に紙媒体を設置・回収

3 調査期間

令和6年2月15日（木） ～ 令和6年3月31日（日）

4 調査回答数

478件（うち紙媒体27件）

A 回答される皆様について

Q1. お住まいの地区（複数ある場合は主なもの）を選択してください。

選択肢	件数	割合
1 海岸通、山手、本町、栄町、港、小路谷、津田	53	11%
2 塩屋、炬口、宇山、下加茂	27	6%
3 物部、上物部、千草	92	19%
4 桑間、上加茂、下内膳、上内膳、奥畑	53	11%
5 宇原、大野、金屋、前平、池田、木戸、新村、池内	51	11%
6 由良、中津川組、相川組、畑田組	14	3%
7 中川原	14	3%
8 安乎	28	6%
9 納、鮎屋	11	2%
10 都志	35	7%
11 鮎原	36	8%
12 広石	19	4%
13 鳥飼	20	4%
14 堺	11	2%
15 その他	1	0%
16 答えたくない	13	3%

※未回答1件は「16 答えたくない」に含む

478 100%

Q2. 年代を選択してください。

選択肢	件数	割合	選択肢	件数	割合
1 30歳未満	31	6%	4 50代	98	21%
2 30代	129	27%	5 60歳以上	84	18%
3 40代	124	26%	6 答えたくない	12	3%
※未回答2件は「6 答えたくない」に含む				478	100%

Q3. 子ども（中学生まで）と一緒に住んでいるか選択してください。

※複数の項目に該当する場合は、最も若い子どもを対象に選択してください。

選択肢	件数	割合
1 未就学児（0～6歳）がいる	140	29%
2 小学生がいる	85	18%
3 中学生がいる	30	6%
4 中学生までの子どもはいない	221	46%
※ 未回答	2	0%
		478 100%

B 学校の規模について

Q4. ひとつの小学校として望ましい児童数について選択してください。

選択肢	件数	割合
1 できるだけ少ない方がよい	77	16%
2 クラス替えできる程度は必要	305	64%
3 できるだけ多い方がよい	41	9%
4 その他	53	11%
※ 未回答	2	0%
		478 100%

Q5. ひとつの中学校として望ましい生徒数について選択してください。

選択肢	件数	割合
1 できるだけ少ない方がよい	44	9%
2 クラス替えできる程度は必要	335	70%
3 できるだけ多い方がよい	59	12%
4 その他	37	8%
※ 未回答	3	1%
		478 100%

Q6. ひとつの学校として望ましい学級数（クラス数）について選択してください。

選択肢	件数	割合
1 1学年当たり1学級以下 (小学校6学級以下、中学校3学級以下)	67	14%
2 1学年当たり2学級程度 (小学校12学級程度、中学校6学級程度)	259	54%
3 1学年当たり3学级以上 (小学校18学级以上、中学校9学级以上)	113	24%
4 その他	37	8%
※ 未回答	2	0%
	478	100%

Q7. 複式学級（2学年以上が1学級となり、ひとりの先生によりひとつの教室で学習すること）についてのお考えを選択してください。

選択肢	件数	割合
1 できるだけ避けるべき	343	72%
2 やむを得ない	89	19%
3 特に支障はない	29	6%
4 その他	15	3%
※ 未回答	2	0%
	478	100%

Q8. 望ましい学校規模を考えていくに当たって、重視されるものを**3つ以内**で選択してください。

選択肢	件数	割合
1 子ども同士の人間関係が深まりやすく、教職員とも親しみやすい	213	16%
2 多くの子どもや教職員とともに学ぶことで、多様な考え方に触れることができる	208	16%
3 縦割り活動など学年を超えた経験が得られやすい	109	8%
4 クラス替えにより人間関係が広がりやすい	202	15%
5 子ども一人ひとりに活躍の場が多い	77	6%
6 子ども一人ひとりに対してきめ細かな対応ができる	185	14%
7 体育や音楽など集団的な学習や行事を行いやすい	118	9%
8 専門性の高い教科学習を行いやすい	47	4%
9 保護者や地域住民との距離が近く、学校関連行事に参加しやすい	73	5%
10 関係する保護者や地域住民が多く、学校関連行事で担う負担が小さい	49	4%
11 子どもひとり当たりの教室や運動場の面積に余裕がある	48	4%

12 その他	8	1%
※ 未回答	1	0%
	1,338	100%

C 学校の配置について

Q9. 学校の配置（位置）について、望ましいものを**3つ以内**で選択してください。

選択肢	件数	割合
1 なるべく校区（通学範囲）の中心にあってほしい	349	30%
2 なるべく災害の影響を受けにくいところにあってほしい	351	31%
3 なるべく人口が多いところにあってほしい	63	5%
4 なるべく人口が少ないところにあってほしい	14	1%
5 なるべく商業施設の近くにあってほしい	13	1%
6 なるべく商業施設が少ないところにあってほしい	23	2%
7 なるべく便利な道路の近くにあってほしい	153	13%
8 なるべく交通量の少ない道路の近くにあってほしい	149	13%
9 その他	26	2%
※ 未回答	5	0%
	1,146	100%

D 今後の学校について

Q10. 現在の学校数（小学校13校（うち洲本地域8校、五色地域5校）、中学校5校（うち洲本地域4校、五色地域1校））に対し、今後の児童生徒数の減少をふまえ、お考えにあてはまる又は最も近いものを3つ以内で選択してください。

選択肢	件数	割合
1 今のままでよい（小学校13校、中学校5校のまま）	100	11%
2 児童生徒、未就学児及びその保護者の意向や判断を尊重する	178	20%
3 学校と地域住民、保護者等の話し合いの結果に委ねる	147	16%
4 コンパクトシティの実現に向けた市全体のまちづくりの中で考える	112	12%
5 複式学級等学校が著しく小規模となることを避けるため、概ね小学校8校、中学校3校程度に再編する 例1) 安乎小学校、中川原小学校 計2校 を 洲本第一小学校 に再編 例2) 由良小学校 を 洲本第二小学校 に再編 例3) 鳥飼小学校、堺小学校 計2校 を 広石小学校 に再編 例4) 安乎中学校、由良中学校 計2校 を 洲浜中学校 に再編 など	120	13%

<p>6 1学年につき複数学級の編成を図るため、概ね小学校5校、中学校3校程度に再編する</p> <p>例1) 洲本第一小学校、洲本第二小学校、由良小学校 計3校を1校に再編</p> <p>例2) 加茂小学校、中川原小学校、安乎小学校 計3校を1校に再編</p> <p>例3) 都志小学校、鮎原小学校、広石小学校、鳥飼小学校、堺小学校 計5校を1校に再編</p> <p>例4) 安乎中学校、由良中学校 計2校を洲浜中学校に再編</p> <p style="text-align: right;">など</p>	123	14%
<p>7 将来的に児童生徒数がさらに減少することを見越し、概ね小学校3校、中学校2校程度に再編する</p> <p>例1) 洲本第一小学校、洲本第二小学校、加茂小学校、由良小学校、安乎小学校、中川原小学校 計6校を1校に再編</p> <p>例2) 洲本第三小学校、大野小学校 計2校を1校に再編</p> <p>例3) 都志小学校、鮎原小学校、広石小学校、鳥飼小学校、堺小学校 計5校を1校に再編</p> <p>例4) 洲浜中学校、青雲中学校、由良中学校、安乎中学校 計4校を1校に再編</p> <p style="text-align: right;">など</p>	97	11%
<p>8 その他</p>	32	4%
<p>※ 未回答</p>	1	0%

910 100%

今後の洲本市立小・中学校についての アンケート調査

各問「その他」選択の回答内容

A 回答される皆様について

Q1. お住まいの地区（複数ある場合は主なもの）を選択してください。

15 その他

1	洲本市出身で東京都在住
---	-------------

B 学校の規模について

Q4. ひとつの小学校として望ましい児童数について選択してください。

4 その他

1	20～30人
2	多くもなく少なくもなく20から25人程度
3	一クラスに20人前後。一学年に一クラスしかなくなっても仕方ないと思います。地域に学校が存続することに意義があり、大事だと思います。
4	各学年10～20人
5	100～200
6	今のまま
7	クラス替えできる程度は必要、1クラス20人以内
8	クラス数、1クラスの児童数によると思う
9	今後の学校運営のあり方を考えるとき、「児童数」から考えるのは違うと思う。色々考えた結果、「こういう児童数が適切であった」となる問題ではないか？
10	一クラスでいいが、20人程度はほしいと思う。

11	クラスの人数が15～20人位が良い。
12	1学年最低10人はいてほしい
13	多少の各々のメリットとデメリットがあるので選択目的→基準を明確にしないと正当な選択は出来ません。例えば少ない方が生徒1人に対する教育サービスは上がるが、学校収支は悪化する。何れも選択肢としては正しい。
14	クラス替えが出来るか出来ないかより、一人ひとりに目が行き届く人数であってほしい。20人前後
15	基本的にはクラス替えができることが望ましいが、統合のデメリットを考えると、必ずしもそう言い切れない。
16	人数に固執したアンケート内容になっていると思います。地域単位で学校が設置されており、地域の小学校は変更せず、その時々在籍する児童の人数に応じてクラス編成を考えればよいと思います（負担を強いる統廃合、学区変更等は反対です）
17	1クラス、2クラスと各々良い点がある
18	1クラス25人～30日程度がいいと思う。特に低学年の間。
19	一クラスに20人程度
20	できるだけ少ないではなく、1人の先生に20人程度がいいと思います。人数が多くなると、先生の目が行き届かなくなるし、先生の負担も大変。
21	ある程度の人数は必要だと思うが、低学年では特に先生の指導が行き届く範囲の人数を希望する。
22	少なくともいいが、クラス替えができるくらい児童数の方がよいと思う。
23	各学年10人～20人程度
24	どちらとも言えない
25	多過ぎずかつ、複式学級にはならない程度。

26	1クラス20人から30人ぐらいがよいと思う。回答例の設定が不適切。「できるだけ少ない」と「クラス替えできる程度」の間はないのか。ふ
27	クラス替えできるよう方がよいが、学校を減らすのではなく子どもを増やす政策をすべき。
28	20人から30人程が良いと思う。
29	その地域の実情があるのでこの選択肢では答えられない
30	ひとクラス20人前後のクラスの学校
31	多い少ないのも大切ですが、地域の子が地域の子同士でつながれるのが一番良いと考えます。
32	クラス替えが出来る程度の人数が良いとは思いますが、あくまで人数規模だけを考えた場合にのみ当てはまる。学校全体や地域などを考慮するとなると丁寧な議論が必要と考える。
33	1学年1クラス規模
34	別に何人でも良い
35	クラス替えは出来ない人数でも、教育環境として、ある程度的人数は必要だと思います
36	少子高齢化社会のあるべき姿が示されず、多い少ないの判断基準がクラス替えの可否では判断出来ない
37	数の問題ではない
38	1学年に1クラス20～30人程度がよい
39	一クラスでも良いと思う
40	教員一人当たり何人かということが重要では
41	自宅から学校までの距離を徒歩圏内に出来れば良いでしょうか。

42	地域に則した規模
43	児童数だけを気にしていないから（先生の数やその他環境との兼ね合いが大切だと思います）
44	望ましい規模は誰から望ましいのですか？親？行政？子ども？何故子ども主体でないのか？
45	1学年 20人程度いけばよい
46	少なくともできるだけ地域の学校に通えるのが理想
47	どちらが良いとは、選べない。多ければ多いで良し悪し、少なければ少ないで良し悪しがあると思う。
48	規模は問題ではない。教育の質が問題。
49	この選択肢は「クラス替えできる程度は必要」を選ぶようにできている気がして選べない。
50	20人程度が良い。
51	クラス数は全く関係ない。地域で育ち、地域の学校で学ぶことが重要であるから。望ましい児童数、などと指定するのもおかしい話である。与えられた環境での最大限の学びを得ている。
52	1クラス20～30名程度になれば、単学級でも複数学級でも良い。
53	クラス替えはできなくても良いが、せめて一学年10～20人はいてほしい。

Q5. ひとつの中学校として望ましい生徒数について選択してください。

4 その他

1	30人程度
2	一クラスに20人もいれば十分。海外の教育を大切にしている国では、そんなものではないでしょうか。
3	各学年100人以内

4	400～500
5	今のまま
6	クラス替えできる程度は必要、1クラス20人以内
7	クラス数、1クラスの児童数によると思う
8	今後の学校運営のあり方を考えるとき、「児童数」から考えるのは違うと思う。色々考えた結果、「こういう児童数が適切であった」となる問題ではないか？
9	クラス替えはできなくても、30人ほどいれば良い
10	Q4の回答（多少の各々のメリットとデメリットがあるので選択目的→基準を明確にしないと正当な選択は出来ません。例えば少ない方が生徒1人に対する教育サービスは上がるが、学校収支は悪化する。何れも選択肢としては正しい。）と基本的には同じです。公立学校であっても学校各々の特性と専門化を検討し、希望する生徒数に応じて収容数を決定することも検討すべきです。校区概念から離れるべき時期に来ているのではないのでしょうか。
11	人数の問題ではないので、答えられない。
12	人数に固執したアンケート内容になっていると思います。地域単位で学校が設置されており、地域の小学校は変更せず、その時々在籍する児童の人数に応じてクラス編成を考えれば良いと思います（負担を強いる統廃合、学区変更等は反対です）
13	小学校でのアンケートと同じ意見。生徒一人ひとりに目が行きとどく、中身の濃い教育を望んでいます
14	少なくともいいが、クラス替えができるくらい児童数の方がよいと思う。
15	多すぎても少なすぎてもトラブルは起こるので、臨機応変に対応できる単位制をとりいれてみては？
16	生徒の数が問題です
17	どちらとも言えない
18	ひと学年2～3クラス。多過ぎない方がよい。

19	クラス替えできるような方がよいが、学校を減らすのではなく子どもを増やす政策をすべき。
20	その地域の実情があるのでこの選択肢では答えられない
21	クラス替えが出来る程度の人数が良いとは思いますが、あくまで人数規模だけを考えた場合にのみ当てはまる。学校全体や地域などを考慮するとなると丁寧な議論が必要と考える。
22	1学年1クラス規模
23	別に何人でもよい
24	クラス替えは出来ない人数でも教育環境としてある程度的人数は必要と思います
25	少子高齢化社会のあるべき姿が示されず、多い少ないの判断基準がクラス替えの可否では判断出来ない
26	教員一人当たり何人かということが重要では
27	徒歩圏内で通学
28	地域に則した規模
29	児童数だけを気にしていないから（先生の数やその他環境との兼ね合いが大切だと思います）
30	望ましい規模は誰から望ましいのですか？親？行政？子ども？何故子ども主体でないのか？
31	環境がよいこと
32	どちらが良いとは、選べない。多ければ多いで良し悪し、少なければ少ないで良し悪しがあると思う。
33	ネット学習の時代、規模は問題ではない。
34	この選択肢は「クラス替えできる程度は必要」を選ぶようにできている気がして選べない。

35	愚問。クラス替え云々は問題ではない。その学校でどんな学びをするかが重要。しかしむしろ、小規模でクラス替えできない規模の方が、子どもの活躍の場も増えて、手厚く学べるので、小規模の方が利点はある。
36	1クラス20～30名の複数学級
37	クラス替えはできなくても良いが、せめて一学年10～20人はいてほしい。

Q6. ひとつの学校として望ましい学級数（クラス数）について選択してください。

4 その他

1	1学年小学校1学級、中学校2学級以上
2	一学年に一クラスしかなくても、存続することに価値がある。
3	小学校6学級、中学校3～6学級
4	小学校6学級以下、中学校6学級程度
5	今のまま
6	今後の学校運営のあり方を考えるとき、「クラス数」から考えるのは違うと思う。色々考えた結果、「こういうクラス数が適切であった」となる問題ではないか？
7	小学生のうちには1クラスでもいいと思うが、中学は人間関係も複雑になってくるので2クラス以上ある方がいいと思う。
8	囚われない方が懸命です。
9	小学校は6学級以下でも構わない。中学校は1学年2学級以上は必要。
10	選択肢「1」以外。いじめが起こった場合、クラス替えできないと卒業するまで（卒業後も）「親分・子分」の仲のままになってしまうからです。
11	この質問も愚問だと思います。学級数が多い、少ないについてはいずれもメリット、デメリットがあり、一律にどの学級数がいい、とは答えられません。

12	1学年当たり2～3学級が理想だと思うが、教員の負担軽減や子どもたちへのきめ細やかな指導、学力保障、生活指導の観点から、30人以下の学級編成であることが望ましいと考えます。
13	小学校はクラスの人数。中学校は複数が望ましい。
14	中学校ではクラス替えができるくらい、人数は少なくとも3クラスはあった方がいいと思う
15	1学級から2学級程度
16	これも同じく回答例の設定が？小学校1クラス、中学校複数クラスが望ましい。
17	クラス替えできるような方がよいが、学校を減らすのではなく子どもを増やす政策をすべき。
18	その地域の実情があるのでこの選択肢では答えられない
19	何クラスでも良い
20	小学校は1学年でも中学校は2学級程度は必要だと思う
21	少子高齢化社会のあるべき姿が示されず、多い少ないの判断基準がクラス替えの可否では判断出来ない
22	単に数の問題ではない
23	教員一人当たり何人かということが重要では
24	徒歩圏内で通学
25	地域に則した規模
26	学級数だけを気にしていないから（先生の数やその他環境との兼ね合いが大切だと思います）
27	望ましい規模は誰から望ましいのですか？親？行政？子ども？何故子ども主体でないのか？

28	小学校については、1学年2学級程度で良いと思いますが、中学校の規模としては、1学年2学級程度は少し少ないような気がします。その先の進路(高校等)を見据えた時に、小学校から変わらない人間関係ではなく、新しい人間関係を築く力を身につけることも必要だと思います。
29	環境がよいこと
30	小学校1学年あたり1学級、中学校1学年あたり2学級程度
31	1学年当たり1学級or2学級程度 1学級の人数が12人くらい
32	小学校はクラス替えができなくてもいいが、中学校はクラス替えができる方がよい。
33	様々な学級数の学校があり、校区にこだわらず選択できると良いと思う
34	愚問。全問で回答した通り（愚問。クラス替え云々は問題ではない。その学校でどんな学びをするかが重要。しかしむしろ、小規模でクラス替えできない規模の方が、子どもの活躍の場も増えて、手厚く学べるので、小規模の方が利点はある。）。学級数が問題ではない。子ども一人ひとりに向き合えることが大切。ゆえに、小規模学校が、理想である。
35	学級数が問題ではなく、1学級あたりの人数が問題。
36	必ずしも2学級でなくても良いが、複式にならない程度の数がよい。
37	2学級以上

Q7. 複式学級（2学年以上が1学級となり、ひとりの先生によりひとつの教室で学習すること）についてのお考えを選択してください。

4 その他

1	いろんな形があつていいと思う。子どもたちが地域で学び育つことの豊かさを守ってほしい。
2	1クラスの人数による。多すぎるのはだめ。20まで。
3	少ないよりかは良い
4	わからない

5	子育てが厳しくなる中、先生べきではない。昔より子どもの数は減っているが、現場はより厳しい状況が続いていると聞くため。
6	教職員の負担が軽減される事も前提として賛成
7	少子高齢化社会のあるべき姿が示されず、多い少ないの判断基準がクラス替えの可否では判断出来ない
8	学校の統合とは別問題です
9	ナンセンスな質問。教員数>児童となる傾向からして複式自体見直すべき
10	縦割りの学級、クラスもつくる、1クラス30~40名に対して担任3人を設けて担任をなくす。若しくは学年で担任をなくし5人の先生で1学年をみる。誰でも見られるように病院みたいに生徒カルテを作成しカルテに申し送りをしておく。全職員閲覧可能。
11	生徒数が少数ならやむを得ない
12	先生の負担やスキルしだいでは特に支障はない
13	科目や授業内容、クラスの学力によると思います
14	複式学級でするものと、他の学校とオンラインでするものもあっても良いと思う。
15	複式でも、複数の教師が配置できれば問題はない。洲本市の教育に対する姿勢が問われているだけである。複式となっても、きちんと加配教員等、子供の教育補償に力を入れられているか？が問われているだけだと思う。複式云々は全く問題ではない。

Q8. 望ましい学校規模を考えていくに当たって、重視されるものを3つ以内で選択してください。

12 その他

1	学級編成や児童数より、授業の内容や指導方針のほうが重要だと思う。
2	子供と親と学校の強い繋がり
3	オンラインを活用すれば、今までの学校と違った教育が可能である。

4	正解が子供の数だけあるような教育システム。選択肢が沢山あることが望ましい。
5	多様な考えをカバーできること。大規模か、小規模かの選択肢しかこの発問にはない。
6	学校規模が大きいほど先生の数も多く、先生方の業務量に少し余裕が生まれ、それが学校全体のゆとりやおおらかさにつながる可能性がある。
7	この中の主語が「子ども」と言うのが多い。教育環境として「児童生徒」が主語である事が望ましいが、学校と言う器やシステムだと「教職員」と言う主語の何かが欲しいと思ったから。
8	全て子供の教育環境に大切なこと。3つ以内、と制限して問うことは問題であると思うが？

C 学校の配置について

Q9. 学校の配置（位置）について、望ましいものを**3つ以内**で選択してください。

9 その他

1	学校施設に必要な面積を確保できる場所
2	小学校と中学校が近くにあってほしい
3	なるべく通学しやすい位置がいいが、周りの環境も大切。
4	現在の学校でよい
5	家から近いところ
6	自然の多いところ
7	義務教育を受けるに当たり他の家族が生活リズムを変えることがなくて良い。（子供自身で通学し、放課後に習い事も行くことができる。）
8	徒歩で30分以内程度で通える範囲に小学校を設置するというイメージがあります。今後もそれを望みます。
9	災害時、避難場所になることもあるので、安心安全な場所が望ましい。

10	歩道と車道が分かれて、子供が安全にアクセスできる環境のところ
11	幼稚園、保育園等の近く。津波、地震etcの場合、保母さん方の負担を少なくするため、小学校高学年や中学生が園児の手を引いて避難できるように、学校と幼稚園・保育園を一体に考えて配置して頂きたい。
12	近隣住民が学校教育に理解のある場所。
13	学校を集約したときにどうしても遠くから通わなくてはならない児童が出てくると思うので、本校・分校のようになって普段は別々に授業を受けるが、行事の時などは一緒に活動するとかになっているといいのではと思う。
14	現状で良い
15	地域における学校の存在（学校の設立経緯や地域の活性化等）についても検討すべきと考えるが、回答はその点にふれていない。
16	校区探検しやすく地域の方々と身近にふれあえるところ
17	通学路が安全である場所
18	まずは通学路が安全である事。
19	既存の活用を無視した統合・再編は、既存の活用を含めた費用対効果が全く示されていない、納税者として理解に苦しむ
20	小学校は徒歩、中学校は自転車で無理なく通学できる位置が望ましい
21	地域に則した配置
22	スクールバスが充実していれば距離はあまり気にしていない
23	これも大規模か小規模の二択しかない。
24	既存の校舎を活かして新しくするべき
25	立地については仕方ないところはあると思う。各家庭で調整、選択できる方が望ましい。

26	統合ありきの質問ですね。
----	--------------

D 今後の学校について

Q10. 現在の学校数（小学校13校（うち洲本地域8校、五色地域5校）、中学校5校（うち洲本地域4校、五色地域1校））に対し、今後の児童生徒数の減少をふまえ、お考えにあてはまる又は最も近いものを**3つ以内**で選択してください。

8 その他

1	洲三小や青雲中など、校区の人数が多い所がさらに多くなることを変えていく必要があると思う。
2	安乎と中川原を洲本第一等と一緒にするのは地域性や距離的な観点から避けてほしい
3	市民、地域住民、児童・保護者など、地元の関係者の意見をよく聞いてほしい。小中学校がなくなることは、地域の衰退につながり、さらなる過疎化は避けられない。学校再編だけの問題でなく、洲本市の(さらには淡路島の)未来に関わる問題であり、簡単には決めないでほしいです。
4	青雲が多すぎる。第三も。少ないところをくっつけるより多いところを分ける。
5	校区をなくす
6	今多いところを分ける
7	青雲の児童を洲浜と青雲、洲浜の生徒を由良と青雲と安乎に再編。現中学は今のまま。少ないメリットの方が大きい。
8	小中学校の再編と共に、校区の再編について検討して頂きたい。1. 加茂小学校は青雲中学校へ進学していますが、加茂地区は南北に両側歩道付の幹線道路が整備され、洲浜中学校へ通学の方が安全であるので、加茂小学校のうち加茂地区に居住する生徒は洲浜中学校への校区変更を提案する。2. 本町7丁目、8丁目の生徒は第三小学校へ進学しているが、中学校へは大半の生徒が青雲中学校へ進学している中で、洲浜中学校への進学を余儀なくされている。進学当初から楽しい学生々活を送るため、第二小学校への校区変更を提案する。
9	小中一貫の義務教育学校

10	小学校2校、中学校1校で十分だと考えます。小学校1学年3クラス、中学校1学年6クラス1クラス40人以上は確保しないと人間形成ができないと思う。爆発的に人口が増える事はないので思い切って小中学校は統廃合を進めるべき。教職員もこれを気に質の高い人材のみ残せる。
11	専門性と特性を活かした学校を再生し、規模と配置を考える。例えば特別支援に特化しポリシーと専門教師を育成し、広く全国に情報発信すれば流入→定住人口の増加にも繋がる可能性があります。文科省カリキュラムに縛られた、均一教育では世界に通用出来る子供を育成することは困難だと思います。
12	五色地区は、小中一貫校1校が望ましい。旧洲本地区は、小学校2校、中学校2校程度に再編しては、
13	第三小、大野小、青雲中は多すぎる。洲浜程度。でも由良や安乎などの少人数は子どもが安定しているように感じる。
14	人数の多い学校では不登校の子供達が多い
15	洲本市だけで考えるのではなく、淡路全島（3市）で考えるべきではないですか。少なくとも南あわじ市と連携を進めるべきです。組合立の広田小学校広田中学校も含めて見直しをするべきです。
16	再編するならば、極力地域から遠くない方が望ましい。生徒も保護者も負担が大きいと思います。提案の再編では広いエリアを1つにまとめる方向なので反対です。
17	財政的にも、新設建築は絶対避けるべきである。スクールバスが必要であり、既存校舎の改修や運動場の規模等を考慮して、設置場所の再検討が望ましい。
18	五色と洲本で小中学校1つずつがよい。由良などあまりにも遠いところは分校として残す。
19	近隣2市と接するところは広田のようなことも含め検討してほしい。
20	いっきに再編するには地域の方、保護者の方にしてはかなりの決断が要ると思うが、段階的に減らして行ってもこの生徒数の減り方からしても、あまり意味が無いと思います
21	少子化による複式学級は山村僻地では必要不可欠、これを統合する案が全く示されていない。Ex. 廃止校から統合校へのスクールバス他を示し投資効果を試算すべき
22	少子化問題も考えるべき

23	五色と旧洲本で2小2中にする。
24	送迎バス運行も検討していただきたい
25	著しく児童が少ない学校のみ統合する
26	なぜ、洲本中心地に固める選択肢なのか？洲浜は、五色よりも少ない。であれば、安乎に洲浜校区の子どもをバスで集める発想になぜならない？
27	地域の避難所としての役割があり、減らすべきではない。新しい学校を建設には、用地や建設費がかかる。できるだけ今あるものを活かせる提案をしてほしい。オンライン活用を検討してほしい。
28	子供の教育環境を最優先に考えて頂きたい。私が考える教育環境とは、最新の施設、設備の整備。教室、運動場、体育館の広さ。教職員の人数。専門性の高い教職員の配備、色々な部活動等だと思います。そのためには小学校、中学校ともに洲本地域と五色地域に1校ずつにして、資本、人材を集中しなければ不可能です。既存の小学校からスクールバスを発着するようにして、今まで通りの通学として、帰りはそのまま既存の学校で、学童の預かりや、クラブ活動、習い事が出来るようにして欲しいです。学校事に部活動の実施を分けてみてはどうでしょうか。また、既存の学校を引き続いて活用し、防災面では避難所として、地域コミュニティの為に地域の人たちが利用する複合施設(貸会議室、飲食店、駐車場、公衆トイレ、掲示板、広場など)としてはどうでしょうか。
29	小学校は居住地に近いところにあるべき。中学校はスクールバスの活用を含めて適正配置すべき。
30	各地域毎に伝統行事等への関わりや地域住民との交流は必要と思われる。小学校の統合は最低限にとどめるべき。
31	隣市の学校の方が通いやすい地域もあり、洲本市だけでなく三市で考えていく必要性を感じる。
32	きちんと議論せず、こんな設問を設けることに、違和感を感じる。一市民として、行政の姿勢に不信感すら感じる。

E 今後の学校のあり方について（自由意見）

Q11. その他ご意見・ご感想等についてご入力ください。

※ホームページ等で公表する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1	<p>時間割や授業内容など、もっと児童が毎日行きたくなるような制度や大きな変更が必要だと思う。そのためにも、各担任、各学校から新しい取り組みを少しずつでも始めてほしい。</p>
2	<p>1クラス20名程になってほしい（第三小）。人数が多いと、担任の目が行き届いていない。生徒数の少なすぎる学校同士は1校にしても良いとは思いますが、人数の多い学校はクラス数を増やすべきだと思う。</p>
5	<p>小中共に小規模校と中規模校で働いたことがあります。 小規模校では児童生徒全員が活躍する機会、体験する機会が多く、学習や生活面でしんどいと言われる子にも対応の手が届いていて良かったです。特に活躍する機会が多いため、自分から気づいて動ける児童生徒が多いと感じました。中規模校では力があれど発揮する機会が少なく大人数の中に埋もれてしまうこと、しんどいと言われる子供に手が届いてないことが多かったです。 教室環境も小規模校ではロッカーや机と机の間にゆとりがあり、気持ちよく教室で過ごせました。しかし中規模校だときゅうぎゅうに荷物が押し込まれたロッカー、廊下や教室の隅の棚に積み上げられた部活道具や学習道具など、落ち着きのない教室が多いです。 望ましい児童生徒数にクラス替え出来る程度と回答しました。多くの子どもと触れ合い、人間関係を広げるためにはその方が良いと考えたからです。しかし、異学年交流、小中連携、姉妹校などを作り近くの学校同士の交流などを増やすことで対応できるのではと考えます。 私自身中規模校出身で中学校では5クラスあったのですが、5クラスあったからといって全員と関わった訳ではないし、先輩後輩も知らない人が多いです。触れ合いや人間関係の広がりや理由に、無理に学校数を減らし児童生徒数を増やさなくても良いと思います。 小中学校が統廃合されることで、学校に近い所が栄えていき、そうでない所が廃れていく。通学時間が長くなり児童生徒がしんどくなる。なども心配です。</p>
6	<p>中学校の部活動について 自分のクラスに馴染めなくても、休み時間などの空き時間には部活動の友達のクラスで過ごしていた子もいた。部活動は学校毎で行って欲しい。</p>

7	<p>洲本市に移住して9年目になります。淡路島の自然を活かした生活、あたたかい人々に支えられて、今生活しています。今回のアンケートで感じていること、今後の洲本市にぜひ期待することを記載します。</p> <p>学校再編に関する提言</p> <p>1. 学校数の維持について 少子高齢化が進む現代において、教育環境の維持は地域社会を支える基盤となります。学校数の維持は、単に教育施設を守るということではなく、地域コミュニティの中心を保つという重要な役割を果たしています。学校は子どもたちが日々を過ごし、学び、成長する場であり、地域住民の交流の場でもあります。したがって、現在の小学校の数を維持することは、地域の絆を強化し、地域の魅力を高めるために不可欠です。</p> <p>2. 「ふるさと醸成」の創出 洲本市を子どもたちが大人になった際に、懐かしむだけでなく、戻ってきたいと思える「ふるさと」としての魅力を創出することが重要です。教育環境の充実、この「ふるさと醸成」において中核を担います。学校を地域文化の伝承、地域活動の中心と位置づけることで、子どもたちは洲本市の文化や価値を内面化し、将来、この地に対する強い絆を持つこととなります。そのためにも、学校再編を見直し、教育資源を地域に根差した形で維持・発展させる必要があります。</p> <p>3. 定住者向けの支援強化 移住者支援は地域活性化のために重要ですが、長年にわたり地域を支えてきた定住者へのメリットをもたらす支援も同様に必要です。地域の教育施設を通じた支援、例えば大人のための教育プログラムや地域イベントの開催は、全ての住民が享受できるメリットとなります。これにより、新旧住民の交流が促進され、より結束力のあるコミュニティが形成されることでしょう。</p> <p>4. 学校の歴史の維持 学校はその地域の歴史の一部であり、多くの場合、地域のアイデンティティを形成する要素の一つです。学校の歴史を保存し、次世代に伝えることは、地域の文化遺産を守ることに繋がります。既存の学校施設を再編する際には、その歴史的価値を考慮し、可能な限り保存する取り組みが求められます。</p> <p>結論 以上の点を踏まえ、私たちは洲本市における学校再編計画を見直し、現在の学校数を維持するとともに、教育環境の質の向上、地域住民の絆の強化、そして地域の歴史と文化の継承に向けた積極的な取り組みをお願い申し上げます。洲本市が持つ豊かな可能性を最大限に引き出し、住民全員が誇りを持つような地域社会の実現に向けて、行政と市民が一体となって取り組むことができると信じております。</p>
8	<p>学校を減らすことは今後の子どもたち、洲本市のためになるのか疑問である。自分たちが住んでいる地域に学校がなければ、その地域はもっと子どもが減り、人口が減っていく。そんな地域に子どもたちが大きくなったときにまた戻ってきたいと思えるとは考えにくい。魅力ある学校づくりをもっと進め、移住したくなる、定住したくなる地域づくりをしてもらいたい。移住してくる人たちへの支援はあるが、元々洲本市に住んでいる人たちへの支援が少ないと思う。もっと子どもたちに関わる市の予算をかけてほしい。</p>
9	<p>五色地域においては、小中一貫校(義務教育校)が現実的に望ましいと考えます。</p>

10	読書の楽しみがわかり、心豊かに育つためにも、学校図書館に専門の司書の配置をしてほしい。学校司書としては、専門性が必要という点からすれば、司書教諭でも図書館司書でもいいと思う。
11	税金の無駄を省き、子どもたちの多様性が広がる社会のためには小規模ではなく、子どもの数が多く、それに適した数の教師がいる学校を再編してきくべき
12	教員数や財政的な面からある程度の統合は必要かも知れないが、効率的なところばかりにとらわれないようにして欲しい。例えば大中小の規模の異なる学校を用意し、校区にとらわれず自由に選べるようにする。また、自身の経験から、高校進学では必ず人数が多くなるので、将来を踏まえ、普段から学校間の交流を頻繁にし、人数の少ない学校の子供も大規模校の雰囲気慣れる場があればと良いと思う。小規模校ならではの良さがあり、大人数の中での生活に馴染めない子供の存在も考慮して欲しい。また、一人の先生が40人の子供を見るのは大変に感じる。大規模校のみの誘導だけはやめて欲しい。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の偏った意見に迎合すべきではない。行政が指導力を発揮されたい。 ・但し、メリデリをしっかりと分析し、感情的な意見に左右されないよう望みます。 ・他自治体の失敗事例を挙げ、原因分析してください。 ・地区を限定して2ヶ月ぐらい社会実験してみてもどうか。 ・現状をふまえた縮小ありきの印象を持ちましたが、本当に市内全域が同じ条件下とはとは思えないがいかがか。 ・コンパクトシティを目指す方向は賛同できるが、具体性が伝わって来ない。 <p>切り捨てるエリアを示すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が増えるポテンシャルのある地域もあると思うので、十把一絡げで進めると全員で不幸になるのでは。 ・行政にはおおいに期待しています。 <p>全地域が同じというわけにはいかないなので地域毎にメリハリのある施策を期待しています。</p> <p>以上 今回のお知らせ冊子を見て、アンケートに答える方は少ないのではないのでしょうか。 市民の意見を積極的に取りたいという意思を感じなかったのは私だけかな。。。！</p>
14	中川原小学校を早く統廃合してほしい。小学校と中学校がバラバラで、地域でも小学生と中学生の接点が分断されて、子どもたちが可愛そうです。

15	<p>まず、洲本市で町名の付く中から、中川原町だけが中学校のみを廃校にして、長期にわたり小学校を放置している現状に憤りを感じます。洲本市教育委員会の怠慢ではありませんか？早急に中川原小学校を中学校のときと同様に第一小学校に統廃合すべきです。中川原町で小中学校の統廃合が完了した事例を示せば、五色町・由良町・安乎町など他町で統廃合の議論も進みやすいでしょう。</p> <p>次に、国の文部科学省の方針により地方自治体で小中一貫教育が進んでいますが、洲本市教育委員会の例では毛頭考えていないように見えますが、無視ですか？さすがに中学校を一つはやりすぎでしょう。少なくとも洲浜・青雲・五色の3校をベースに小学校も3校にして、小中一貫教育を目指したほうが、先々の統廃合も考えればスムーズに議論も進むのではないのでしょうか。</p> <p>最後に、洲本市教育委員会で、あくまで小中学校の統廃合は全部一括でというのであれば学区外の転校要件を緩和してください。数人の学級で6年間耐えろというのは余りに理不尽です。洲本市立小・中学校の未来を考えるより、子供たちの未来を最優先で考えてほしいです。</p> <p>ご検討のほどよろしく申し上げます。</p>
16	<p>少人数学級のほうが、いろんな個性の子どもたちが安心してのびのび過ごせると思うし、先生たちも目が届きやすく、一人ひとりを大切にしたい良い教育ができると思います。</p> <p>教育が一番大事と言っても過言ではないくらい、本来ならもっと国が予算をあげて教育環境を整えてほしい。子どもたちの成長がより良い社会の発展につながるのに…と思います。</p> <p>パンフレットの5ページ目で、統廃合のイメージとして小学校3校、中学校1校の例が示されていましたが、そんなことになれば洲本市はどうなるのだろうかという危機感を感じました。地域の発展を目指すどころが、縮小していく感じます。</p> <p>いかに統廃合していくかよりも、どう地域に受け継がれてきたものを守り、地域住民が地元の良さを生かし発展に向けていけるか、地域でどう子どもたちを育てていけるか、そちらのほうに向けていかないと、洲本市は未来がないと感じました。</p> <p>また、仮に統廃合して廃校になった場合の校舎を、簡単に民間に明け渡すことはやめてほしい。地域住民が地域の活性化のため、コミュニティを守るために活用できるよう支援してほしい。(淡路島がパソナー色になりつつあるのも心配しています。)</p> <p>とにかく、地域の住民の声をよく聞いてほしい。アンケート調査も、紙で配布してほしいなど、思いました。</p>
17	<p>学校を減らすことによる地域の高齢化、過疎化が心配。</p> <p>学校運営費、教育の質等のことを考えると学校数を減らす方が良いかもしれませんが。</p>
19	<p>統合ありきのアンケートですか？統合反対、各地域が衰退するのは市政の意図するところでしょうか？</p>

20	<p>三世同居の時代とは違い、現在は核家族、共働きの世帯割合が多いこともあり、家庭教育力が低下しているように感じます。そのため、その年齢にふさわしい道徳心、生活能力から著しくかけはなれた状態で在籍する子どもの指導（しつけ）も学校の教師が担っている現実があります。さまざまな家庭背景を持つ子どもに心を通わせ、手厚く教師が指導するためには、学校再編は不要です。子供の人数減による複式学級は加配教員の配置を望みます。</p>
23	<p>人数が少なくても先生が目が行き届きやすいとは思いますが、行事ごと等はやっぱり人数が多い方が良いかと思う。 これだけ人数も減ってるしすぐにでも合併すべき。</p>
24	<p>1クラスの人数が多くなると先生が目が届きにくくなるので学校再編は反対です。通学もスクールバスより地域の人に見守られながら通学させたい。</p>
25	<p>楽しく学べるがっこう</p>
29	<p>好きなことをみつける場所であってほしい。</p>
30	<p>洲本市民（市役所の幹部は特に）がもっと教育に関心を深めること。児童育成の為、必要な給付金を停止する等は不見識である。</p>
31	<p>今まで学校があった地域から学校というものが無くなれば、その一帯はますます過疎化が進みます。他地域の例をみても明らかです。統廃合は避けられない現実だとは思いますが、無くなった後のその地域および住民に対してどのような配慮がなされるべきか、そしてその地域の将来像とかについても、行政および当該地域住民ともども早くから考えていかなければならないのではないかと思います。</p> <p>統合した場合は、遠隔地から通う児童・生徒の通学事情（通学バス等）に十分な配慮が絶対必要だと思います。</p>
32	<p>少子化は、当該児童生徒や当該保護者に責任はない。親子にとって従前のサービスを極力維持できるようにお願いしたい。 複式学級は教育効果が損なわれるので避けてほしい。 自力通学をできる環境を維持してほしい。統合等により遠隔地への通学になっても、通学バス停までの徒歩時間が現状よりも短縮すること。下校時には、学校→バスで放課後子ども教室→徒歩で帰宅が基本。放課後子ども教室について現状の設置地区を維持し、学校から各地区の放課後子ども教室までのバスを運行する。放課後に個別児童への指導（補講）や文化体育活動の時間を確保するために時間差を設けた複数のバス便を確保する。</p>

33	<p>「統廃合は時間の問題」と考える。そのため、少しでも早く一歩前へ踏み出すことが大切になる。10年後に生まれる子どもの数を予想すると、1学年170人くらいではないかと考える。過疎化が進むのは、間違いなく現実問題。社会インフラ（水道・道路等）を維持できるのかぐらいの危機感を感じている。学校の統廃合は、10年後くらいになるのではと考えているが、地域住民と話し合いの場を設けて納得感のある統廃合を進めていただきたい。教職員アンケートにあったように、駐車スペースの確保は必須である。スクールバスも必要になるであろうから、校舎等を新設して将来性のある学校を構える方向で検討いただきたい。20年後には、1学年100人前後になる可能性も考えられる。少しでも市に体力のあるうちに、戦略を考え将来世代を中心に進めていただきたい。</p>
36	<p>地域の方々と交流できるのもありかな？</p>
37	<p>同じ洲本市立の学校にあるにも関わらず、各学校の環境が違いすぎる。統合を含め、洲本市立に通う児童、生徒になるべく均等の教育環境を提供して頂きたい。また、保護者、教員にて構成されるPTA運用も、洲本市立の中では、地域によって差があると言われがちだが、なるべく内容を均等にしていけないと、地域間の格差が広がって行くように感じる。洲本市連合を強化して行ってほしい。</p>
38	<p>これからの子供達はきめ細やかから配慮が必要な子が増えてくるのは間違いないので、どの子供達にも手厚くフォローできるように大人が関わって欲しい。子供の将来は地域～ひいては国の将来であることを重視して欲しい。お年寄り重視ではなく、子供たちへたくさん投資をしてほしい。生きにくい子供たちも、共に歩む他の子どもたちも、それぞれが生き生きと未来に向けて意気揚々と生きていけるような教育現場であって欲しいです。</p>
39	<p>それぞれの特色を出した学校作りをして欲しい。また先生がもう少し楽になるような環境を作ってあげて欲しいです。</p>
40	<p>再編により、通学距離が遠くなる生徒に対してはスクールバスを利用できるようにしてあげると良いと思う。例えば、学校が点在しているオーストラリアの郊外の町では、スクールバスでの通学が昔から行われている。</p>
41	<p>まず人口減少の問題を解決しなければいけないと思う。洲本市のどこを見ても高齢者ばかり。子育て世帯を増やす為に、企業誘致、子育て支援など、隣市に比べて魅力的な町を作って欲しい。移住世帯は淡路市ばかり、島内の方は南あわじ市ばかりに居を構えているように思う。今の洲本市に子育て世帯が暮らす魅力がないように思う。</p>

42	<p>児童数が少なくなることで、学年でチーム競技等ができなくなるのは、子供の経験的にも良くないと思うので、ある程度の再編成は必要かと思うが、少人数でしか経験できないことも多々あると思う。</p> <p>義務教育であるのに、親が送迎などをしないといけなくなる学区編成は困る。現在の児童館や学童などのように、放課後の子供の過す場所も親の仕事時間等に影響しないように考えて欲しい。</p> <p>学校の場所が変わっても、現在の学校の近くにある習い事にもそのまま通える環境を作ることは、子供、保護者だけでなく、習い事を経営している人にも大事だと思う。</p>
43	<p>統合には賛成です。ですが、市内中心部にある第一、第二、第三を統合するのはダメなのではないでしょうか。遠くの小学校地区と統合すると送迎の問題もありますし、新校舎設立となれば学童の事も気になります。</p>
44	<p>私自身小さな小学校出身で複式学級の経験もあります。当時はそれが普通で今は良い思い出ですが、学校行事の際などにはデメリットもたくさんありました。</p> <p>学校は学びの場、人間関係構築の場、生活の場、子どもたちにとって大切な場所です。皆平等な方がいいです。</p> <p>すごく大きな学校、すごく小さな学校みたいに市内で大きな違いがない方がいいかなと個人的には思います。</p>
45	<p>部活動（野球 柔道 ミニバス 囲碁将棋 他）を新しい学区近くで活動できる場があるとありがたい。</p> <p>学校に負担をかけるのではなく、スポーツ21の延長線で、土日や平日夜は親子参加＋子供指導、平日に1日でも子供指導もしくは触れる程度の軽いものだと参加しやすく思います。</p> <p>子供に野球をさせたいと思ったが、仕事の都合等で親が協力しづらいので、ゴンターズ等本気で野球をやりたい親子の邪魔になるのは申し訳なく思うため。学校終わりに集まれるコミュニティが欲しいと感じます。</p>
46	<p>統合によって子の通学問題や学校の負担増、地域の拠点が無くなる等、問題点も多い。学校再編は一度に大きく行わず、徐々に行うのが良い。</p>
47	<p>私は洲本市出身で、現在も洲本市に住んでいます。自分の育ってきた洲本市は利便性も良く、町の人達も優しく温かい町なので、自分の子供にも同じ環境で育てて欲しいと思い洲本市で暮らすことを決めました。私が通ってた学校がなくなるのは寂しいですが、あくまでも主体は子供です。これから少子高齢化が進み、児童数が少なくなるのであれば、合併も避けられないと思います。私は子供達がクラス替えできる程度の人数で同じ学年の子達と学ぶほうが子供達が楽しいのではないかと。勉強も学びやすいのではないかと。</p>
48	<p>限られた税金なので統廃合はやむなし。</p> <p>母校が無くなると嘆く気持ちはわかるけど無限に税金があるわけではないし、他府県の人口に対する校舎比を見ると洲本市はかなり校舎数が多いです。</p> <p>人口がこれからどんどん減ることを考えると統廃合はスクールバスを走らせてでも進めて行った方がいいと思います。</p>

49	<p>自治体としての教育の効率化からの観点ならば、学校の合併も仕方が無いが、コロナ禍以後の現在のようにネット環境の充実等があれば、離れた学校間での交流等も可能では無いかと思う。</p> <p>島内の教育環境の利点として、運動会（体育祭）等において幼・小・中の異年齢間の交流や、地域との関係の密が上げられ、合併によりこれらが無くなる事は残念に思う。</p> <p>また、最大の課題は、南海トラフ等の大災害の可能性が高くなる状況が語られる中において、統廃合された場合、児童・生徒の中で、居住地と学校所在地が離れてしまう事も多くなり、その場合、現状の保護者が自分の子どもを保護等に駆けつけられる可能性より、非常に低くなってしまふ事は、大きな課題と考える。</p> <p>特に、島内の交通事情を考えると、この点に関しての課題解決方法が中々見つからないので、十分な検討・考慮が必要である。</p>
50	<p>できるだけ多くの子どもがいる中で育てて欲しいので統合して欲しい</p>
51	<p>少子化は以前からわかっていたことなので遅すぎる感がある、早急に再編を行うべき</p>
52	<p>1学年に、ドッジボールや野球などができる最低限の人数はいてほしい。</p>
53	<p>学区再編は人口減少に伴いやむを得ないのだろうが、少人数で学習することも大切であると考え、複式学級もやむを得ないと思う。自分の子どもは、現在保育園児で、1クラス10人にも満たない環境で育っている。そのため、上下クラスの域を越えて、日々生活している。先生のフォローも素晴らしく、保護者としては安心している。将来的な話になるが、大人数で学校生活するとなると、先生の目が届きにくくなったり、クラスで発達が遅れている子どもが目立ちやすくなり、サポートもできなくなるのではないかと不安に思う。今はICTを活用する時代。建物さえあればリモートでも授業が行えるし、その点では教員不足も補えるものではないかと思う。地域の核となる小学校を、何としても存続してほしい。淡路市などは、小学校を集約しているが、『地域に学校がないのは』という声も聞かれる。また、校舎の活用についても、維持費等の問題で活用事業者が放棄や手放したなど、新聞報道等で見られた。</p> <p>五色地域の保育施設が、先だって集約（五色こども園）されるとの話がある。この話も、大丈夫なのかと疑問に思う。保育士不足は仕方のないことだが、建設予定地が広石地区であるとの噂もあるが、広石方面への道路は、鮎原地域以外、狭くて危険。通勤通学時間帯と重なると、事故が起こるのではないかと思う。『こども園を建設しました』だけではなく、周辺環境整備も必要である。その点は、今回の小学校再編と重なる部分もある。</p> <p>洲本市として、『人口減少が～』と唱えるのではなく、全ての地区に平等に人口が増加するような政策を考えてほしい。当然ながら、商業施設がある、交通の便が優れている、保育・教育施設が近い・充実しているという場所が、人口増加するのは当たり前。補助金を出すなら、対象地域を絞り、条件を付けるべきだと考える。</p>

54	<p>学校再編は、一度に複数校をまとめるのではなく、まず生徒数が少ない学校から段階的に進めるべき。あと、今ある学校を活用して、無駄のない学校再編にするべき。</p> <p>廃校の活用（例えば民間譲渡とか）など、学校再編後のことを考えてから進めるべき。淡路市や南あわじ市の学校再編を参考にするべき。</p>
55	<p>世界の変化に対応できる人格を育てる環境を創造して行く必要があります。基本的学科教育の必要最小限量を見極め、創造した時間を既述の人格教育に費やす。高度な目標には優秀な教師が必要です。教師希望者が少ない構造を変える為にも、既成概念からの脱却が必要です。学科教育は教員免許所有者、人格教育は社会で活躍する人材を登用し、社会で教育を担う構造が必要です。学校収支も特性、専門化を図れば改善出来る機会が生まれます。この点では経営感覚が必要です。金銭的収支に加え、素晴らしい人財が育てば、未来的社会的利益に繋がります。行政手腕と行動力に懸かっています。子どもを視点に意見を述べましたが親にも課題があります。教育を終えた世代です。課題ある親対応にも民間人材が関わることが出来れば効果的だと思います。期待します！</p>
	<p>今回の統合案（のように思われる政策）はあまりにも乱暴です。私は現在、県立学校の職員ですが、洲本市広報に載っていた仮の統合案を見た同僚たちも口々に「こんな乱暴なことがあるのか」「子育て世代が洲本からいなくなるよ」などと驚いておりました。</p> <p>先行で学校関係者の方に実施したアンケートを読みましたが、小中の先生方でさえ児童生徒の適正な「数」は答えられないという回答が目立っていると思います。少人数であれ多人数であれ、それぞれメリット・デメリットがあるわけで、アンケートの質問のしかた（つまり望ましい数の「多寡」を保護者等に尋ねること）に大きな問題があります。またこのような「不適切と思われる聞き方」で成立したアンケートが住民の意見として、今後の方針決定に大きな影響を及ぼすのであれば、失望を禁じえません。</p> <p>私自身、小さな小学校区で育ちましたが、そこでの人間関係は今でも地域社会の要です。消防団活動、PTA、自治会、祭礼団、農会なども昔からの地域の間人関係に基づいて成立しているわけで、統廃合によって子供のときに地域から物理的／心理的に離れて育った子供たちの間に、今までのような地域を思う気持ちが育まれるかは大いに不安があります。現に都市部では自治会・消防団のような「公共圏」が衰退し、結果として私的世界のみで生きる人が増え、重大な犯罪や深刻な近隣トラブルが起きているというのは日々の報道などの通りかと思えます。職場でも神戸などの都市部出身の同僚が多くいますが、彼らには私たちががしている地域の活動など理解できませんし、理解する気もありません。田舎にはまだ残っている「みんなのために・地域のために・お互いさまで」という感覚は都市の人の間では希薄なのではと感じます。</p>

56	<p>「効率化」が見え隠れする今回の統合案（のように思われる政策）が実施されるなら、風前の灯でなんとか地域が衰退しないように日々奮闘している私や私の仲間たちの努力がむなしくなっていくますし、将来的な地域社会の死滅を意味すると思います。コンパクトシティにして、過疎地を切り捨てていきたいというのが行政の本音なのかもしれませんが、地域の末端が死んでいけば、結局それは市全体の死にもつながっていくような気がします。都市部のマネをしても仕方ないと思います。「少ないので手厚くやります」「小規模校だけどあきらめませんし、負けてません」「効率化という流行にはのりません」「ダサくても田舎の良さを最大限生かします」くらいの逆コースを取るという選択肢も洲本市には必要なのかもしれません。それが独自の魅力になるか死亡宣告になるかは未来の人しかわからないと思います。</p> <p>哲学者のハンナ＝アレントは、ナチスがなぜ生まれたのかを考えた人としても知られていますが、彼女によると人間の営みとして大切なことの3つとして、1 労働（生活のための行為・家事など）、2 仕事（芸術家や職人などの「価値ある」仕事）、3 活動（草の根の政治活動・地域活動・ボランティア）を挙げています。アレントはとくに古代ギリシア人がポリスへの奉仕を何よりも重視したことを引き合いに出して、人間は3番目の「活動」を取り戻すことで、独裁政治や権威主義や全体主義に対抗し、自分たちのことは自分たちで決める自律した強靱な市民社会を生み出しようと考えたわけでした。</p> <p>また社会学者のユルゲン＝ハーバーマスも「公共圏」（私的な利益を超えて社会全体の問題を自由に議論できる場）が健全であれば、社会全体の課題を解決するための対話的なコミュニケーションが活性化し、社会を良くするための原動力になると考えました。</p> <p>今回の統合案（のように思われる政策）は、「効率化・都市化」というトレンドをなぞり、無用に「競争社会」を助長したものにしか感じられず、アレントやハーバーマスが言った「地域と結びつき公的利益のために生きられる人間」の育成の機会を奪っていくような政策に思えてなりません。都会マインドの洲本っ子たちが洲本を守っていけるのか、大いに疑問に思います。</p>
57	<p>少なすぎるのは良くない 先生も大変だと思うが、子どもの成長のために我慢が必要</p>
58	<p>保護者の意見や考えを大事にして下さい。 大人のエゴだけで決めては駄目です。 小さい頃から多様な考えに触れる事が大事です。</p>
59	<p>統合する場合は通学手段としてスクールバスが必要になるのではないかな？ 少子化と過疎化がすすんでいるので、統合を考える必要はあると思う。 子供が伸び伸びと学校生活を送り、他の地域と同じように学力をつけることができる環境をつくってほしい</p>

60	<p>高校生の息子がいる父親（50歳代）です。 部活や専門知識を有する教科への入口として、小中学校の統合は必要であると考えます。 また、父兄にとって、送迎の負担増は避けられませんが、小学校低学年の内から多くの人と交わる機会があったほうが人間の成長という意味で好ましいです。 教職員という限られた人的資源を有効に活用するという意味でも、統合は必要かと思えます。 統合に関しては、一定数の反対派がおられると思います。 地域集落の荒廃・衰退を招くので反対と言う考えをお持ちの方もおられると思います。 ただ、日本の人口そのものが減少傾向にあり、既に集落組織の運営にも支障が出始めております（老人会や婦人会は今、どれだけあるでしょうか）。 「ジリ貧」状態から目を背けず、未来を担う子どもたちにとって、何が一番良いかを考えると、古いしきたりや慣習を大事にしている我々、大人世代の考えを改める必要があるのではないかと考えてしまいます。 (言葉足らずで申し訳ありません)</p>
61	<p>0歳児がいます。 アパート住まいで家を検討していますが、五色でも少なくとも小中学校は近くにあるだろうと思っていたのに、学校が統合される（中学校が1校）と子ども世帯は学校が便利なところに住まいが集中せざるを得なくなります。 児童数が減ると学校を維持するのは大変なのは分かります。 この広い洲本市で学校が減ると島外から引っ越してくるのではなかったと、自然があって子育てに良いと思ったのが間違いな気がします。 統合するなら島外の学校以上にメリットが欲しいです。 通うにもバスでも出るんでしょうか？ 乗り損ねると親が送迎だと遠方だととても負担です。</p>
62	<p>効率化が必要なことは理解できるが、子どもと保護者の思いや願いを第一に考えてほしい。児童数が少なくなることも問題であるが、子どもに日々接する職員の人数や質の向上が問題であると思う。</p>
63	<p>茶道、花道に力を入れて欲しい。</p>
64	<p>他地区については、その地区で検討すべきなので、意見は言えない。 五色地域については、小学校は1校に集約することはやむを得ない。 設置場所が問題になると思うが、 既存の1校に集約は× 五色中学校とは別の場所に、五色地域の地理的中心（広石）× 現五色中学校に小中一貫校○（新たな土地の取得が不要、小学校棟の新設、グラウンド・体育館は共用） 五色県民健康村に新設○（新たな土地の取得が不要、校庭整備が不要）</p>
65	<p>子供の個性、能力が伸ばせるような教育が望ましい。 統廃合については、地域の意見も大事だが、まず子供、保護者の意見を優先すべき。</p>

66	<p>学校は地域の要であり、地域から学校がなくなると、さらなる人口減少に繋がる。</p> <p>ある程度の統合はやむを得ないとしても、できる限り、地域に学校を残す方向で考えてほしい。</p> <p>また統合の場合も、校舎の新設はせずに、そのお金を一学級定員の削減に使ってほしい。</p> <p>現状、小学校の特に低学年の指導はとても大変で、教員のなり手不足にも繋がっている。</p> <p>洲本市が税金を学校教育に投入しているということがアピールできれば、若者世代から評価される可能性もあるし、実質的に住民のメリットも大きい。</p> <p>明石市のように子育て世代に優しい町としてアピールしてほしい。</p> <p>いずれにしても、早急な統合には絶対反対です。</p>
67	<p>合併するとなると、通学路が長くなり、登校が難しくなる心配がある。</p>
68	<p>1人1人が個性に気づき、自分の良さを生かせる学びの場となってほしい！！</p>
71	<p>小人数で子供1人1人をよくのばして欲しい。</p>
73	<p>再編する際には、自宅からの距離が遠くなる家庭が増えるので、通学はドライブスルーを選択できることが望ましく、ロータリーを設置したり、渋滞しない環境づくりに配慮された学校づくりをお願いしたい。（行事の時に保護者の駐車場が充分にあることなど。）そしてスクールバス、自転車通学も選択可能なことが必要です。また、放課後は学童だけで無く、自習室や図書室などでお迎えを待つことができる場所づくりなども検討していただけたらと思います。</p>
74	<p>教員の仕事を減らすことが、まず大事です。</p>
75	<p>小人数、小教員、コンパクトな学校を希望します。</p>

76	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の統廃合はせず、現状のままとしてほしい。今の小学校の環境で満足しており、ほか小学校と合併するなど環境の変化は望んでいません（他小学校は児童が荒れているなど、いい話を聞きません）。 ・PTAと子供会ですが、廃止に向けて動いてほしいです。妥協しても完全に任意入会は実施必須。少子化が進んでいるという背景があるのにこの制度を継続するのは保護者の負担が大きくなるのは自明で、いずれ制度の維持ができなくなります。当方、両親とも洲本市外で共働きをしており、数年内に職場が遠距離（島外・自宅から40kmほど遠隔の職場）となる予定で、PTAの立ち番などの当番、イベント、役割を引受できなくなる可能性が非常に高いです。特に、地区役員と子供会については即時撤廃をお願いしたい。実際、子供会は児童数減少のために休会する地域も増えてきているのが実態です。この状態でも連絡先として役員の届出だけはするようにとの意味の分からない制度が継続していますが、一度引き受けると人数減少や地域内の父母交流の減少もあって、地域内の小学校の在籍者・連絡先も分からず、後任探しに多大な苦労というか、無理難題とを感じる状況を強いられています。次回引き受けをお願いされたら後任選出困難なことを考えると、今後引き受けもできません。旧態依然とした制度の維持にこだわらず、現実に応じた制度改革を求めます。 ・先日別のアンケートにも書きましたが、学童の受け入れ規模がほか市町村に比べると小さいと思います。来年度からうちの子供が学童の継続審査に落ちています。理由が引き受け人数が多すぎるためとのことでした。学童の希望者が全員受け入れていただけるように、拡充をお願いします。
77	<p>子どもたちが安心して通える学校づくりが必要だと思います。（学習面、人間関係、交通安全、生活環境など）</p> <p>仮に学校を再編して複数学級が実現可能な学校を配置できるとすれば、1学級の定数を国基準より減らして、20～30人程度の学級編成が理想だと思います。そうすれば、学校で働く先生方が子どもたち一人一人を見取りやすく、学習面も生活面も指導しやすくなるとともに、業務負担も減らせるように思います。また、子どもたちも、先生に関わる機会や時間が増えるとともに、交友を広げたり人間関係を再構築したりできるのではないかと思います。</p> <p>1学級の人数を少なくする取組は、学校再編をして廃校にした際の学校運営に充てていた経費から、市独自で定数を設定し、教員を雇用することで実現可能なものだと思います。</p>
78	<p>学校を減らすことを考える前に、人口を増やす政策を考えるべき。若者のUターンや移住者の誘致、就職先となる企業の誘致、持続可能な儲かる農業の促進、地域性を活かした特産物や加工品による地域の活性化の促進、出会いの場や子育て世帯を増やす、住みやすい街づくり、自然派の人も増えているのでフェアトレードタウンなど他の市町村にはない魅力的な街づくりなど。腹式学級も統合による地区外の学校に通学するのも、賛成できかねます。</p>
79	<p>校区が広がると更に通学の負担が大きくなると思うので、スクールバス等も同時並行で検討してほしい。</p>
80	<p>多様性の中で自分の個性を活かせる様な環境が必要</p>

81	<p>洲本市に移住政策をしているとあるが、実際に住む場所を決める場合にその地域に学校がなければ子育て世代は洲本市を選ばない。由良や鳥飼、堺などその他の地域も特にそうだと思う。それは本当に今後子どもたち、その地域のためになるのか疑問である。より一層、人口減少が進むと思われる。子どもたちのためと言いつつ、大人の身勝手な考えにならないよう慎重に考える必要がある。今の子どもたちが将来また洲本市に戻ってきたいと思える洲本市にしないといけない。だから、反対である。</p>
82	<p>1クラス25人以下が望ましい。多いと先生が目が行き届かない。副担任が居ても現在は担任程クラスに関わっておらず結局担任に負担がかかる、細やかなフォローが行き届かない状態では無いでしょうか。 現時点で子供達のフォローや、視野、魅力的な活動を広げる取り組みが充分なのか改善活動を進めて欲しい。 小学校が洲本市に住みたいと思えるアピールとなれるような町を実現できると良いと思います。</p>
83	<p>学校再編の検討プロセスの中で、保護者、地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールの導入は不可欠であり、また統廃合後の学校と地域社会との連携強化にも重要であることから、可及的速やかに導入を進めていただきたい。また、洲本市でほとんど導入されなかった理由も教えていただきたい。</p>
84	<p>小・中学校ともにグラス替えができる規模が望ましい。可能であれば小中一貫校も視野に入れて。</p>
85	<p>洲本市街地付近に空き家が沢山あると聞きました。市街地は便利な場所で需要があるにも関わらず、土地がないので住めません。空き地を家族向け(3LDK程度)の賃貸物件や建売戸建て、分譲地などに早急にしてください。そうすると、児童数も必然的に増えます。統合を考える前にまず早急にそちらの対策をすべきです。</p>
86	<p>2022年に、夫婦で移住して今は2歳の子供がいます。 望むこと ・移住者を増やすための施策への注力 我々のような移住者は、将来子供が学校に通いやすいかという点を重視して移住先や住居を選ぶ方が多いと思います。 人口減少は日本の課題ですが、移住者を増やすことは、各市の課題です。 淡路島は素晴らしい資源に溢れています。 洲本市は他の2市に比べて、中心街があり、買い物にも困らないので生活も便利です。 子育て世帯へ特化した移住者支援策を、明石市のように打ち出して欲しいと願います。 時間はかかりますが、何とかこの地域を盛り上げたいですし、子供が大きくなった時に、今よりいい状態であって欲しいと願います。</p>

87	<ul style="list-style-type: none"> ・地域、保護者、教員などの意見をしっかり聞いて取り入れてほしい。 ・学校のあり方前に市の人口、子どもを増やす為にどうすればいいか、もっと考えてほしい!! ・小学校は現状維持で良いと思う!!各地域に幼保育園ないうえに小学校までなくなると各地域での関わりが薄れてしまうように思う。 ・今回のパンフレットに再編案(どこと、どこが合併)は、まだ載せなくてもよかったのでは??案であってもこのインパクトとは大きい!!
88	<p>スクールバス通学になったとしても、活動の幅が狭くならないように配慮してほしいです。バスの時間に終くおわれ、バス通学の子は早く帰って友達とも遊びにくい環境にならないか心配です。また、クラブの地域移行により、保護者の送迎負担がどうなっていくのか具体的な案が出てくると違った思いになる方もいらっしゃると思います。学校から家までの距離が遠くなると災害時の対応や引き渡しの際の対応に時間がかかるようになるので、安全な立地に学校があることは最低限確保してほしいです。</p>
89	<p>子供の数が少ないのに、がらんとした学校をそのままにしておくのも、問題かと思えますし、コンパクトシティー実現も一理あるかなと思えますが、由良に住んでいて、学校編成になりますと、バスでの通学、あるいは自家用車での送迎が必然となり、経済的な負担がかなり増え、仕事面においても影響が出てきますので、憂慮しております。</p>
90	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒数が多い学校と少ない学校の人数差が大き過ぎる。少ない学校同士段階的に合わせて行くなどが必要だと思う。 ②地域への移行期間とはいえ中学校の部活動の数が少な過ぎて選択肢が少ない。 ③インクルーシブ教育の積極的導入 ④地域の保育園、小学校、中学校の行事が重ならないよう連携してもらいたい。兄弟が保育園小学校の運動会、小中のオープンスクールと文化祭などのバッティングで親は走り回っていたり、参観を諦めている人が少なからずいる。せめて校区内、隣にある保小中学校の行事は考慮して欲しい。
91	<p>小学校のトイレが汚いという理由で、トイレを我慢する児童がいると聞きます。トイレを綺麗に保つためにも、再編をし、経費を清潔なトイレにも回してほしい!</p>

【教育現場の見直し】

時代と共に生徒への指導法やコンプライアンスなど、変化が進む中で「生ぬるさ」を感じています。

しっかり社会人として自立して生きていくための義務教育のはずが、大人たち（教育現場の方々）は

マニュアル化していて自分達の保身に走っているだけのように感じています。

例えば、子供が学校で友達と大喧嘩をしてしまった時「なぜそうなったのか」背景から探って

一緒に改善・解決に導いてあげるべきだと私なら考えますが、

簡潔に処理し大人は時代のリスクから逃げているようにしか思えません。

※実際子供に怖い先生いるのかを問うと、残念ながら「いない！」即答でした

子供がいる現場に少なくとも1~2人は怖い大人が必要だと思います。

各々生徒の習熟度は異なりますが、それに合わせた教育指導を行うのがお仕事ではないでしょうか。

ただ将来のことを考えると自分達だけで解決できることが成長になり学び・関係性の構築に

繋がるきっかけになるはずなので、何でも大人が間に入らず見守ってあげるのも役目だと思います。

先生方もリアルタイムで状況を把握するのは難しいと思いますが、もう少し子供と向き合って

叱るときはビシ！と叱って頂かないと、社会人として立派に生きていけないと考えています。

そんな世の中甘くないです。でも甘さを教えてるのは教育現場という危機に

【PTAや行事毎への参加・協力】

全国でPTA廃止活動が進んでいる状況なのは、ご理解して頂けてるかと思存じます。

地域文化を大切にするのは別に反対はしませんが

もっと時代に合わせた環境作りが必要なのではないのでしょうか？

働き方を問わず（自営・フリーランス等）共働きの家庭は増えており

その中で古い考えや方針、田舎特有の人間関係が生きづらさを作っていることに理解を示して頂きたいです。

92 個人的には廃止を願いますが、学校側と対等に渡り合える何かは必要だとは思うので立候補制を早急に導入すべきだと考えています。

受験するための実績作りが必要なご家庭だったり時間に余裕がある方のみ参加していただく形で現状、任意団体を語ってますが強制ですよね？それは大きな間違いだという認識はありますか？

もしそれで「教師の仕事が増える、割に合わない」などそちらのマイナスがあるのならそれは市・教育委員会側が改善する業務ですよね。

公・民間・法人で仕事しているのなら、効率化を図り新しい取り組みを導入し成功させるべきではないでしょうか。

「地域コミュニティのため」「田舎で狭いから皆で助け合い」というのであればそれは勘違いです。

いい大人なので自分のコミュニティは自分で作れます。

今の古い取り組みの状況が続いてると、いつまで経っても改善されず進化もしない、ダラダラしているだけのように感じています。

	<p>【疑問点】 学校でもIT化が進んでいる中、なぜまだたくさん用紙の配布をしているのですか？ （イベントのお知らせやアンケート、チラシ諸々） タブレットを使用しているのであれば、学校→子供→親で共有出来ますよね 1年生でGoogleアカウントを開設した記憶があるので、現状プリント配布を行なっている個人・全体へのお知らせもドライブ機能を活用すれば可能だと思います。 必要以上に用紙を使いすぎで、そのコストを抑えれば足りてない部分に回せるのではないのでしょうか。</p> <p>長年教育現場に携わっている方は特に昔と今の変化に驚きがあると思います が現状の教育方針だと子供の未来への不安だけが大きくなる一方です。 「教育現場への教育」が怠っているのではないのでしょうか。 確かに世の中過保護や理不尽な親も居ることは十分承知しています。 ただ、1日6～7時間×年間260日を義務教育に子供を預けているわけなので そのリスクだけに怯え、生きていく上で必要な知識・経験・学びを与えず生ぬるい指導は求めてません。 逆にネット社会が広がる現代に厳しい教育が絶対に必要だと思います。 しっかりとメリハリを付けて指導をしてほしいです。</p>
93	<p>徒歩圏内に小学校をできるだけ残してほしいですが、現在居住している地域に、子ども（未満児）の同級生がほとんどおらず、少子化をより身近に感じております。 子育て世帯がもっと住みやすく、魅力ある洲本市になるよう、積極的に取り組んでほしいです。 島外にも市の魅力をどんどんアピールしてほしい！</p>
94	<p>少子化がすすむなか、市内の小中学校の再編の議論を進めることに賛成です。 納鮎屋の子どもは、広田小中学校に通うことになっています。過去の経過があつたとはいえ、同じ洲本市民なのに、なぜ洲本の教育を受けられないのでしょうか。組合立問題も同時にすすめては、どうでしょうか。</p>
95	<p>タブレット学習が導入されていますが、学校によって差があるように思います。小、中共に活用方法を充実させた方がいいのではないかと思います。</p>
96	<p>小学生でも留守番をさせる事が難しい時代なので（共働き、祖父母も仕事している、不審者の不安、災害時の不安など）、学校が統合するなどしても、登下校に親の負担が少なく、子どもが放課後利用できる施設などを充実してほしいです。</p>

97	<p>洲本市も人口減少により少子高齢化が急激に進んでいる中、児童数減少に歯止めがかからない状況かと思えます。学校再編も仕方がないかもしれませんが、洲本市を上げて子育て世帯移住にもっと違うアプローチで児童数を増やす努力もするべきだと思います。</p> <p>例えば、学校給食をオーガニックの農作物にかえていく取り組みで全国から移住者が増えている自治体を参考にするなどはどうでしょうか？</p> <p>洲本市（淡路島）でも有機無農薬で栽培し育てる農家さんもいらっしゃいます。農作物が取れる田舎ならではの立地を活かすことは取り組みやすいと思います。世界の動きもオーガニックへ、日本でもみどりの食糧システム戦略でもオーガニックへの移行を推進しています。</p> <p>子供たちの健康や食育のための学校給食をオーガニックの農作物へ変えていって欲しいです。</p> <p>全国のオーガニック給食マップサイトご参考までに。 https://organic-lunch-map.studio.site/home</p>
98	<p>児童生徒数が少ないことによって、教育内容に影響が出ることはあってはならないため、学校数を減らし再編することは必要だと思います。</p> <p>校区が拡大するためスクールバスを利用しての通学となりますが、安全性を十分に確保して実施しなければいけないため、慎重に検討していただきたいです。</p> <p>小規模校は教職員の負担は大規模校に比べて多いです。学校の規模に関係なく、教職員の仕事内容を精査していただきたいです。</p> <p>学校現場の声も大切にしなければならないと思いますが、洲本市の学校再編について現場の先生方の仕事が今以上に増えることは無いよう、多くの方に関わっていただきながら検討していただくください。</p> <p>災害等の有事の際、学校は地域の方が頼りにするとても重要な拠点です。学校数が減ることにより、日常的に地域の方とのつながりが薄まるだけでなく、有事の際は命に関わることにともなうと思えますので、教育的な側面からだけでなく、公共の施設としての役割を十分に考えていただきたいです。学校以外に避難場所となる建物がきちんと確保されているのか、情報や物資の拠点となる場合、交通の面から問題はないのかなども検討していただきたいです。</p>
99	<p>由良地区のように、保育所から中学校卒業までクラス替えのない地区もありますが、中学生になったら人数は少なくとも2クラスくらいに分けて少人数での教育をしてもいいのではと思います。学業だけではなく、子ども達の関わりも変わってくると考えています。思春期で多感な時期に1クラスだけだと、友だちとのトラブルの際に不登校になったり、教室に居場所がない事もあり得ると思うので、人数は少なくとも、クラス分けを考えてほしいです。</p>
100	<p>淡路市、南あわじ市で認められている、部活動を理由に校区外中学校へ通うことを認めてください。3年間したい部活ができないのはかわいそうです。</p> <p>小規模学校が悪いとは思いません。</p> <p>大規模学校で不登校になって転校してきて、少しずつ通えるようになってきてる子もいます。</p> <p>本人たちが選択できるということが重要ではないでしょうか？</p>
101	<p>生徒の数を適切に考慮してほしい</p>

102	<p>洲本第三小学校と大野小学校の大きい同志をくっつける理由が分かりませんが、普通はそれぞれ大きい学校に周りの小さい学校をくっつけると思います。オニオンロードが完成すれば、由良から大野はスクールバスですすぐです。</p> <p>五色地区は小学校だけ統合するか、現在の五色中学に義務教育学校として小中まとめては。中川原、安乎の人も場合によっては五色地区に通学しても良いかもしれません。</p>
103	<p>地域性もあり、児童減少はやむを得ない。児童の将来を考えると教員一人で複学年授業は、避けたほうが良いと思う。校区が広がることでは児童の安全と保護者の負担を減らす為に送迎車を出す等手当が必要とも思う。20年以上前の話ですが、尼崎市内の私立幼稚園から学年2クラスの地方の公立幼稚園へ。小学校も2クラスで転入生の私達より地元の保護者の方達が8年間2クラスの状態を嘆いていました。</p>
104	<p>統合になると、学校までの距離が遠くなるのでスクールバスは必須で考えてもらいたいです。</p>
105	<p>今のままで良いと思うがどうしても再編となるならば、最小限の再編にとどめて欲しい。学校の無い地区は衰退していくと思うので。 淡路市のように企業誘致等で子供を増やす取り組みも併せてしてほしい</p>
106	<p>統合によって、通学手段の見直しなどの課題もでてくると思う。地域の方のサポートなどが受けられる体制があればと思う。例えば、子供タクシーや送迎車など。</p>
	<p>生徒を暴力的な言葉遣いで怒る、感情的になる教師がいると聞きます。それが本当なら、言葉遣いや態度など、改めてほしい。</p> <p>タブレット学習は、早すぎる。簡単な操作程度は、中学生、高校生になってからでも覚えられるため、本当に小学生からタブレットを持たせる必要があるか検討が必要。</p> <p>タブレットを一人一台取り入れのは、画期的で、当初は良い印象を持ちましたが、実際、子どもが使っている姿をみて、依存症、視力低下、脳機能低下、学力低下等健康への影響、落下や破産のリスク等、心配なことの方が多く、タブレットを返却したいです。タブレットを持たない選択肢も増やし、タブレットがなくても通常通り授業を受けられるスタイルは残してほしい。タブレットは、タブレットの専門授業を設け、その授業のみで使用させてください。</p>

107	<p>また、タブレットを自宅に持ち帰る必要性が低いと、自宅には持ち帰らず学校で責任を持って保管をしていただきたいです。</p> <p>YouTubeやアプリゲームも制限なく使え、遊びにしかタブレットを使っていません。家庭で、その指導をするのは、根気が必要で、とてもしんどいです。YouTube等の制限も設けてください。</p> <p>小学校がとても閉鎖的な場所であることから、どのような学校生活を送っているのか、わかりづらい。参観日や、オープンデーでの表向きの部分ではなく、実際の普段の様子、学校の雰囲気がわかるよう、保護者、地域にも常にオープンな工夫があると嬉しいです。</p> <p>P T A活動は、保護者の負担が大きいと、早いうちに廃止、または、ボランティア制にするなど、見直してほしい。</p> <p>卒業式の服装で、袴は禁止という決まりがありますが、一方的に禁止にせず、毎年卒業生に説明し、どうしたいか、その年の、卒業生が選択できるようにしてほしい。</p> <p>小学校のランドセルは、リュックも可にしてほしい。ランドセルは、高額なのに、荷物が入らず機能的でない。</p> <p>新一年生の、ランドセルに付ける黄色いカバーは、新一年生だとわかることで、犯罪に巻き込まれてしまわないか心配です。</p> <p>給食の毎日の献立を写真付きで紹介してほしい。また、どのような食材（産地、成分表など）を使っているかの公表をしてほしい。</p>
108	<p>子供達と淡路島に移住して来て思った事なのですが、簡単に島外から引っ越しできる場所と言えば団地があり、近くには小学校と保育園があり、とても利便性も良いことでした。</p> <p>自然が近くにある中で、子供達と簡単に移住できるしくみとして、日本中で成功例がある団地リノベーションをし、余っている田畑を貸し出し子供達と畑で作物を育てるなども重要があります。</p> <p>ただ、淡路島中の団地がほぼすべて汚いことと、人が住めない仕組みに驚いております。</p> <p>淡路島ですぐに一軒家を建てたり、古民家を改修するのは簡単ではないです。</p> <p>団地に人が住めず、子供がいない。保育園や小学校がなくなる。子育て世代が学校の近くにある団地に住むメリットもなくなっています。</p> <p>いまあるものを使うことで、淡路島の魅力ある自然の風景も残り、今後もまた子育て世代の親にも魅力的に映ると思います。</p> <p>私はデザイナーをしておりますが、この話は淡路島のクリエイター関係の方々とも話していきまして、建築士、デザイナー、工務店などなど、材料費以外はボランティアで淡路島中に協力をお願いすれば皆様立ち上がってくれます。</p> <p>私も協力できることがあれば是非したいです。</p>

109	<p>まずはじめに2040年は遅すぎる、学校数を減らすことにより教員、運営費等が削減され洲本市の財政も削減される。更に少人数の学校生活に比べ人数の多さにより出来ることの可能性が大いに広がるデメリット面よりメリット面が圧倒的に多い。多数の人に触れることによりコミュニケーション能力が養われ、更にいじめ問題においても少人数であると逃げる場所がなくなる。多数いると一つのグループに馴染めなくなったとしても別のグループや友達を選択することもできるメリットがある。ただ選択される学校に通学する方法は熟慮すべきである。洲本市で独自にシャトルバスを出す、もしくは淡路交通のバスを通学限定で市が全額補助するなど親に負担がかからないようにすべきである。経済的にも時間的にも親への負担がかかると共働きや、夫婦どちらかに負担がかかり働くことができなくなることや、交通費が別にかかることにより経済的負担ができるのは本末転倒である。また一人親世帯においても同様のことが言える。</p>
110	<p>企業誘致を進めているでもく、人口減少が加速していきそうです。学校も老朽化し耐震工 工事していますが保証はないです。学校数を減らして新校舎にして先生数も休業しても大丈夫にならようにしてあげて欲しいです。</p>
111	<p>児童数が減少して行くのは避けられないのかもしれないが 洲本市としてももっと力を入れてほしい 教員の質も向上させてほしい</p>
112	<p>学校の設立は地域の方々の努力で現在に至っていること、また、地域のコミュニティ、活性化についてもその存在は大きい。 まず、部局が違うこともあるが、洲本市の人口減、経済の活性化等についての明確な方向性も公表し、併せて教育環境環境についての児童確保（例えば市外からの児童誘致）が行える大胆な政策も必要だと考える。 今回のアンケートについても、冷静な将来予測に基づき行っているが、消極的であり市政に対して物足りなさを感じる。 各種のアンケートも保護者等範囲が狭いのでは？ 子育てが終わった方などの経験豊かな方や地域の皆様の意見求め、また、ネットだけではなく説明会等の開催も重要だと考える。 財政的にも、新設建築は絶対避けるべきである。どちらにしてもスクールバスが必要であり、既存校舎の改修や運動場の規模等を考慮して、今回の設置場所を再度検討していただきたい。 明るい洲本の将来に向けて、慎重かつ大胆な取り組みが必要、よろしく願います。</p>
113	<p>洲本市への子育て世代に対する招き入れ体制を十分に整えた上で、本当に人口減少が止められないための学校統廃合なののでしょうか。 児童生徒数が増加に転じるよう十分な市政はされてきたのでしょうか。 児童生徒数が減少するのは仕方ないと諦めず増加していくような取り組みをしっかりとした上で統廃合のことを考えていただきたいです。</p>

114	<p>人数が多いほうが絶対に刺激があります。中学や高校から淡路島を出て通学する子どもも増えてきているため、人数が多い学校での生活に慣れておくべきだと思います。</p> <p>こどもは減ってくるのが目に見えてるため、早急に変えていくべきだと思います。</p> <p>段階的にすると無駄が出てくるのでは？と思います。たださえ学校の設備品が古く新しいものに換えていく必要がある、お手洗いが汚い臭いといって嫌がるこどもがたくさんいて大便を我慢して家へ帰って来る、との意見をたくさん聞くのでいっその事学校をまとめて学校自体を改修することも必要だと思う。衛生的に良くないです。</p> <p>よろしくお願い致します。</p>
115	<p>なるべく、子供たちや保護者の負担にならないように。</p> <p>自分で通える範囲での再編計画でお願いします。</p>
116	<p>生徒数が少な過ぎて、生徒がやりたい部活などを制限され、家庭環境によるスポーツ等の格差が学習以上に広がって見えます</p> <p>企業等団体に依存しない生き方も選べるよう選択肢を増やすため、生徒がやりたいことに即応できる環境がすぐ必要だと思っています</p>
117	<p>公費をきちんと子供達、学校に使ってください。PTAの詐欺まがいで集めているお金に期待しないでください。</p> <p>人数が少ないからといって、子ども園のようにうじゃうじゃ子どもを入れるのはどうかと思う。</p> <p>少ないには少ないのでメリットもあるので、学校再編をゴールにしてのアンケートはやめてもらいたい。</p>
118	<p>洲本市は対策が遅すぎますよね。10年以上前から分かっていることなのに。私は子ども4人が小規模校で、自宅から近くて楽しく過ごしたので、小規模も良いと思います。しかし、今後のことを思うと現状維持はあり得ないし、将来的に考えたら大胆な統合もやむを得ないと思います。英断を期待します。</p>
119	<p>廃校になると、必ずその地域は廃れて行く。どこに力を入れるべきかよく考えて判断すべきだと考える。</p>
120	<p>過疎地域になりつつある母校がなくなるのは寂しく思います。校舎もまだ新しいほうだと思います。出来れば存続させてほしいです。生徒数の減少で近隣の学校同士で合併するのは将来的にやむを得ないと思います。中川原のようなスクールバスでの送迎がのぞましいです。</p>
121	<p>国を愛し地元を愛し地域に貢献できて自分を大切に他人を慈しめる子供を育てる学校作りに励んで欲しいです。</p>
122	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の負担が極端に増えないかたちにする。 ・給食の仕組みは維持。使用する食材はなるべく安全安心なものを用いる。

123	<p>安平から市内への登校となると、小学校への通学時間など、今までの子ども達になかった負担を考えると何を優先すべきかと考えてしまう。</p> <p>でも、1学年最低15人程度の人数は必要であると思う。</p> <p>少人数なりの良さはあったが、ここまで減ってしまうと時代の流れだとどんな決断も受け止めていかなければと思う。</p>
124	<p>第二小学校の存続を望みます。理由として、歩いて生活できるコンパクトシティの中にあり、図書館、学習塾、大浜海岸、三熊山、文化施設、官公庁などが近くにあり、教育環境が良い。警察や消防、病院も近く、安全安心でもある。第二小学校がなくなれば、子供たちが歩いて生活できる環境が実現できなくなる。コンパクトシティの魅力がなくなってしまい、より一層中心市街地に人口が減少し続ける。市街地に子育て世帯向けの市営住宅を建設し、コンパクトシティを推進すべきと考えます。洲本市の強みはコンパクトシティをすでに持っていること。淡路島の中心地といえる理由はそこにあると思います。強みを伸ばして行ってください。住宅環境を整備することで人口も増えると思います。</p>
125	<p>はじめに学校の統廃合有きではなく、洲本市全体の町作りがどうあるべきかをみんなで考えることが必要ではないかと思えます。わたしは学校の統廃合で母校が無くなったのでとても残念な心持ちでいます。学校は地域の核となるものなので簡単に統廃合をしてはいけないと思っています。今、洲本市は厳しい状況にあるかもしれませんが、出来るところからみんなで協力して地域を盛り立てていけたら良いなと考えています。</p>
126	<p>地域に学校がなくなると、若者はますますその地域に住まなくなってしまう。洲本市として、現状の学校をできるだけ減らさない方向で、若者が定住し、子育てしやすいまちづくりをすすめてほしい。</p>
127	<p>洲本市は高齢化が進んでいるので、自分の出身校や地域の学校を残すべし、と声高らかに主張することが予想できる。しかし、商工会や地域の要望を受けた議員、学校職員組合など大人の事情で決めてほしくない。またふるさと納税のように一部の行政の課にも任せしてほしい。第三者の島外からの専門家を招聘し、ふるさと納税の汚名を返上できるような、子供たちとこれからの若い子育て世代の人の意見を優先し、心豊かで人のために一生懸命尽くし、同時に自己実現できるようなたくましい人作りに真剣に取り組んでほしい。教育の街すもとを住民みんなで創りたい。</p>
128	<p>今でも通学に距離があり、子供が少ない地域なので1人で帰る事を怖がって困っています。スクールバスの利用や自転車通学の許可や、4年生以上の放課後子ども教室や学童の充実など学校編成以外にももっと考えて頂かないと共働き世帯には安全に子供を学校に通わせることが難しいです。</p>
129	<p>町から子供が減っているのが課題であるが、各地域の子は地域で育てるべきであると感じる。町を歩いてあいさつをし、困ったときには助けを求められる子供の育成をしていくべきではないか。子供が減ってきているからこそ、身近な大人たちがこの町にいる子供たちを大切にして、町の子を自分たちの子のように大切にすべきだと考えます。</p>

130	<p>理想 は1学年に複数のクラスがあり子供達が多くの人とふれ合い友達や仲間を多く作れる環境が良いと思う。 しかし、それだけで学校が再編される事が果たして正しいのか疑問が残る。今現存する特に小学校の生徒達は殆どがその地区の子供達だと思う。自分達の生まれ育った地区に学校が在るというのはその地区を愛しその地区にしかない事を学ぶ事で再編された学校では学ぶ事が出来ない経験や知識等々も多々あると思う。 学校単体だけで考えると再編も一考とは思いますが子供達が将来自分が生まれ育った地区や地域を愛し郷土に誇りを持つ機会が失われる事に危惧しています。 時代の流れもあると思うが丁寧な議論を重ねてこの問題を進めていただきたいと思います。</p>
131	<p>今、あるいはこれからの社会を生きていく力(人と協力できる又は助けてと言えるコミュニケーション能力、経済的な自立を促す基礎能力、健康を維持する体力や食事を自分で理解する能力)を身につけること</p>
132	<p>社会に出た時のためにも、勉強だけでなく人間関係の構築、コミュニケーション能力を高めることが必要と思われ複式学級は避けできたら複数学級が望まれる</p>
133	<p>世の中の流れにあった柔軟な指導を求める。個を大切にした教育を求める。住民の意見、学校関係の意見があることは分かるが、市としてどのような街づくり、人づくりをしたいか明確にしてもらいそのビジョンに沿った学校再編、学校教育の実施を行ってもらうことを切に願います。</p>
134	<p>今回の冊子を読ませて頂きこれからさらに子どもか減っていくことが予想されると思います。少人数、大人数の教育の場でのメリットデメリットはどちらもあると思うのですが、子ども達の社会性を育みいろんな人の刺激を受け育っていく環境が今の子ども達にとって必要ではないかと思うのでできる限り合併してほしいと思っています。</p>
135	<p>出来る範囲で現状維持を望みます。 やむを得ず再編する場合、スクールバスは必須です。</p>
136	<p>生徒数減少は今さら歯止めが効かない所まで来ていると思うので再編して行く事は必須ですが、子供達が毎日 通学して行かないといけない事、学校環境が将来の夢や目標に対してや子供達の成長に大きく関わってくる事を大人たちがしっかりと考えて欲しいと思います。 洲本市のふるさと納税のやらかしから、衰退とかマイナスのイメージが拭えません。これでは洲本に住み続けたいと子供達が思ってくれるのでしょうか？ 将来を担っていく子供達の事を一番に考えて欲しいと願います。</p>

137	<p>余りにも短絡的アンケートに納税者として驚き回答しました。R5年度市予算の9%をも充ててきた教育費は、徹底的に無駄を排除し人・物・金の有効活用を図るべきである。</p> <p>統合後、新たに建築する小中学校の案は時期の問題ではなく、地域住民・児童・保護者によって支えられていること、そこには地域の伝統と文化・日常生活があることを忘れている。単に利便性を求める保護者は、廃校を予定された地域に転入することはあり得ない。</p> <p>都会から田舎への転入希望家族が、洲本市へ転入のインセンティブを感じられる学校運営の施策が今求められており、市街地校と郊外校各々の魅力を引き出す知恵が、洲本市の再生活動につながります。</p> <p>民間ではピンチをチャンスとし、ピンチを生かす取り組みに知恵を絞るが、残念ながら洲本市行政にその姿勢は見らず、金の無駄を人(住民)物(地域)で解決していない現状にある。</p> <p>最後に納税者として提言したい、①校舎存続案に対し、②新築案、更には③折衷案の費用対効果を採算ベースで比較し明らかにしてほしい。</p> <p>③折衷案には、A. 既存校舎から、B. 複式学級から、C. 統廃合更に老朽建替(統合化)。</p> <p>C. の統廃合からは、廃止校から統合校までの間送迎用スクールバスが必要経費として入ります。</p> <p>市には、地域再生クラウドファンディングを活用した関空直行高速艇の復活・財産区を活用したアウトドア施設の運営等による観光復活と転入促進を提案しているが、地方公務員法の影響を受け再生活動は望めない。</p>
138	<p>本市では、国の指導のもとに財政面から統廃合ありきで統廃合を進めようと思われられる。小規模校は、教師一人当たりの児童数が少なくきめ細やかな教育ができ、人間関係も濃いものが得られるなど、メリットも多い。財政面は、管理者や事務職員の複数校兼務とリモート勤務などの工夫もできよう。全国的な小中学校の統廃合の流れに抗って個性的な教育環境を生み出すことで、義務教育の先進的な市となり全国から若い人を呼び込むような施策を望む。</p>
139	<p>単に統合を思案するのではなく、もっと多様な考え方から検討すべき。例えば、地域性の重要性も論じておられるのであれば、小中一貫校の実現による効率化も一案です。また、現状の児童数減少の見込みをベースに話を始めないで、少子化対策や移住推進の為の施策を市に対してどう進めさせるかの働きかけや、具体案づくりなど、将来の子ども達がすごすべき社会をどうしていくのか、そのような考え方の連携を模索することも大事かと思えます。</p> <p>施策や進め方によっては、学校統合よりも早く効果が現れるかもしれません。</p> <p>是非、目先の対処療法だけではなく、根本治療にも目を向けた提案をお願いします。</p>
140	<p>今後見込まれる人口全体の減少にともなって、現状各校がある地域において教育活動に協力できる人的資源もさらに減少していくと考えられます。これまでよりも多くの外部人材が教育活動に携わり、地域全体で子どもたちの成長を支えていく今後の学校教育の実現を考えたときに、ご提案のような統廃合は必ず必要なものだと賛同いたします。</p>

141	<p>児童数がどんどん減ることが前提の話ばかりのため、さらに子供を産みにくい、また、育てにくい環境にしようとしてるように受け止めてしまうのですが、気のせいでしょうか。</p> <p>学校合併で通学距離や通学時間が増えれば、子供達の負担は大きいと思われませんが、そこは検討しないのですね。</p>
142	<p>やっぱり子供達を第一に考えた政策や、統廃合を行ってほしい。</p>
143	<p>少人数学級での教育効果は世界的に認められていると思います。人数が少なくなるとなぜ複式にしなければならないのでしょうか？教員定数を見直せばよいだけの話です。地域から学校がなくなれば子育て世代はそこに住もうとはしないでしょ。そうすればますます地域の衰退につながります。是非子どもたちに贅沢な教育を受けさせてあげてほしいと思います。</p>
144	<p>子供や親に負担をかけるような教育はできるだけしないで欲しい。</p> <p>学校教育よりPTAの在り方をもっと考えるべき。</p>
145	<p>人口が減ってるのだから子供も減りますよね。寂しいことです。</p> <p>私たちが言っても私たちの意見は通らないとおもいますが、仮称A小学校は6校はまとめすぎだと思います。</p> <p>五色の小学校もひとつになるしかないのでしょうか。せめてふたつに。</p>
146	<p>だれが主役で、なにがそもそもの目的なのか、またその実現のために将来のことを考えてどう打開すべきなのか</p> <p>本質的なところがまったく抜け落ちている。</p> <p>児童数が減るから統廃合、でそのあとはどうするおつもりでしょうか。</p> <p>こんなところに新しく住もうとする人はレアであって、ますます少子化が進むのは明白</p> <p>統廃合の前にもっとすべきことがあると思います。</p> <p>人が住み子供を育てたくなる環境づくり、文化的な活動、そのための収入源の確保、地域の特性を生かした仕事づくり、誘致、などをまず具体的に計画していかないと、最後は市自体がなくなってしまう。</p> <p>少子化が段階的にすすんでいます、これは児童一人当たりの教員数は増加傾向になるはずで。</p> <p>児童数がへるから教員数もへらすとか論外。教育はビジネスなのでしょうか。</p> <p>集団生活に対する耐性とのことですが、世界規模の仮想社会に接している現実を目の前にして時代錯誤もいいところ</p> <p>“みんなと同じようにすることが良い”ことを教えてどうする？ あらたな場所に入るときにでも個としてひるまない自身を身に着けさせることが最も大切なことではないでしょうか。それぞれの個性を尊重する、そのひとそれぞれの良いところを本人に認めさせてあげる、少人数ならでのきめ細やかな教育を利用して、洲本市ならではの力強い子供達を世に出すことを考えていただきたいです。</p>

147	<p>複式学級では、教科により難しいこともあると思う。教員の人数も限られるので統合して学校の数を減し、複式学級はなくした方がよい。 少人数の学校が悪いわけではないが、いずれ多くの人の中にはいっていかなくてはいけないので今すぐにでも合併を望みます。</p>
148	<p>次世代を担う子どもたちの教育には多くの予算をつけてほしい。そして洲本で育ってよかったと親子共々思えるような体験を存分に用意してほしい。田舎の子どもほど社会に出れば強いし、活躍していると今までの体験から思う。勉強ももちろん大事だが、小さいときの自然体験やお年寄りなど多くの地域の人との交流、恥ずかしがらず意見を言ったり、実力が出せる度胸をつける機会の確保をお願いしたい。そのためには統合をして、切磋琢磨して育つ環境を作ることが必要だと思う。大人の利害で判断されることなく、吸収合併ではなく、新しいすもと小中学校を誕生させてほしい。また、広報でなるほどと思ったのが災害の少ない土地に作るということである。安全安心な学校であることは第一前提であると思う。</p>
149	<p>現時点で片手で足りる人数（さらに同性しか居ない）クラスが発生しており、異性との関わりが著しく少ない状況となっている。このまま中学生になり、思春期を迎えるタイミングで突如共学の様になることを考えると不安でしかない。私立ならまだしも公立なのに。 なぜもっと早く統合に向けて動かないのか、疑問である。 せめて、小学校の学区外進学申請の条件に、少人数学級を避ける、という項目が欲しい。 現在の在籍小学校はよくやってくれており不満は無いが、市や教育委員会へは迅速に動いて欲しいという思いがある。</p>
150	<p>母校がなくなることはとてもさみしいことだと思います。しかし、今後子どもの数が減少していくにすぎないので統合はやむを得ないと思います。 私は五色在住のため五色地域での意見になりますが、 小中学校、保育園が同じ場所(現五色中学校)にあり、スクールバスなどを充実してもらえれば、各五色内小学校に通う子どもたちや五色中学校に通う子どもたちの交通安全が確保されるのではないかと思います。また保護者にとっても安心ですし、仕事のしやすい環境に近づくのではないかと思います。 学校が統合され、ある程度のクラス数や人数が増えると良い刺激にもなるのでいいと思います。</p>
151	<p>学校によって先生のレベルが違いすぎる 子供を叱れない先生が多く子供からの信頼がない先生が増えている 子どもの事を親身に考えないから叱ることもしない先生が多い 子供に気に入られようとするのとナメられてるのが判らない愚かな先生が目立つ 先生は厳しく威厳を持って子供たちに尊敬される存在でなければいけない 何でもかんでも保護者の意見を受け入れるのではなく 学校としてダメなものはダメと毅然とした態度を取らなければ今の親は義務も果さないくせに権利だけを主張したがる ダウン症など 明らかに健常者と違いがある子供を普通のクラスに入れるのは間違い それを望む親のエゴであって当事者(子供)は必ずしも普通クラスで授業を受けたいと望んでるかどうか疑問に思う</p>

152	<p>現状、学校統合は仕方がないと考えます。その前手に市として人口を増やし、子供を増やす為の対策を怠っていたことが大きな問題だと考えます。</p> <p>いまの再編をしたところで今後も子供が少なくなる見込みと再編後のありたい姿、ビジョンも不明確では未来など到底ないのではないのでしょうか。</p>
153	<p>五色地区は義務教育学校に、洲本は中学校をまず1校にする。通学バスなどの運営も行い易い立地を考える。小学校は中学校の動向も見ながら、通学バスの運営や校舎の広さなども勘案して、最終的には2校程度に絞る方策を。ただし、統合するからには、市民が誇りを持てるような教育環境にするべき。子供は地域の宝。</p>
154	<p>今後数十年後という単位で考えた場合、少子化はさらに加速していくため、ハードルは高くてもどんどんと学校を合併し、税金を節約するべき。また、教職員の皆さんの負担も減らすように配慮してほしいです。</p>
155	<p>淡路市の現状を見た時に、統廃合により学校が無くなった地域は誰も移住してくることなく、その地域が死んでいく姿を目の当たりにしました。また廃校の跡地は他府県の企業が入ってくることで、静かな生活を望んでいる地域住民には程遠い生活になっています。観光地化することによって子どもの安全面にも不安が出てくることも危惧しています。</p> <p>統廃合後に学校が荒れている事例も見聞きしています。子どもが安心して通える学校を望むため、統廃合には断固反対します。</p>
	<p>路線バスの停留所の見直しをお願いしたいです。路線バスで各学校、病院、スーパーに行くことを可能にしてもらいたい。</p> <p>大型バスがダメならハイエースみたいな大人数が可能な乗り物のバスで停留所を増やし、ダイヤも増やし、お年寄りや子ども達、免許がない方の足となるように～電車がないからつらい。</p> <p>以前、テレビで見たんですが各家庭に専用のiPadがあり専用のiPadでバスを呼び乗車していました。由良や五色の山奥みたいな地域でした。また違う県では無人の小型バスが走っていました。</p>

156	<p>他府県の良いところぬすみ洲本市に取り入れていただきたいです。また海やごみ捨て場に防犯カメラを設置してもらいたい。その様子をケーブルで流してもらいたい。漁師さんも海行かなくてもケーブル見て漁にいけるし津波や不法投棄なども防げるのかな？分別ゴミ袋はSSサイズSサイズ作ってほしい。可燃物のガス缶や乾電池使いきっているから燃えないゴミでしょ？使いきっているから火事にならない。町内会入っていない人やマンションに住んでいる人、車の免許持っていない人は捨てられないし免許あっても日々の生活でバタバタですからゴミ集積場で捨てられるようにしてもらいたい。『プロセスは違うけど結果は同じ』という形が望ましい。猫の放し飼いは推奨されておらず室内飼いを推奨しています。市民に周知して下さい。野良猫も多いです。環境がいい町とはいえない。小学校の低学年、昼休みの時間を長くして下校時間を遅くしてもらいたい。働くにしても下校が早くて仕事するのが難しい。昼休みを長くして休憩させてもらえたら体力回復し徒歩で下校できる。体力ある子やない子も休憩で体力回復できる。給食はおかわりできなかったり体質で食べる食材が少なかったり、幼稚園や保育園、学校で無理やり食べさせられトラウマで給食が食べれない。給食を個人持参の弁当にしてもらいたい。忙しい家庭なら給食ではなく弁当として提供してもらいたい。子どもの室内遊び場があったらいいなあ。保育士さんの給料アップを明石市をモデルにしてほしい。初心を忘れずに！いい町に少しでも近づくよう行政、民間、市民が力をあわせて行こう！</p>
157	<p>スクールバスを導入するのであれば再編はよいと思うが、限界まで減らす案の場合はよほどたくさんバスの停留所を作って子供の負担が少ないことをアピールしなければ、今後外から移住しようとする人がさらに減るのではないか。</p>
158	<p>以前から気になっておりますが、学校から貸与されたタブレットの使用について、現在小学生の孫が2人おりずっとタブレットで動画等見ているので依存症になっているのではと心配しています。学校だけの使用とならないでしょうか。小さい頃から目も悪くなると思いますし、外へ出ることを見かけないです。便利なのはわかっていますがペーパーとの併用を更にお願ひしたいです。タブレットを家に持ち帰るのは感心しません。</p>
159	<p>私自身は小学校全校生徒1000人超える学校に通っていたので、子供にはのびのび勉学や運動に励んでほしいです。</p>
160	<p>学校数を減らして人数が増えるのは良いと思います。その時に授業のあり方でちょっと分からないとかでてきたら分からない所を教えてもらえる先生をつけて欲しい。</p>
161	<p>市民の意見を反映していただくためにも、アンケートを実施していただいたことに感謝しています。子どもの数が減ってきているのは事実であります。地方にとって学校は、地域のコミュニティの核となる施設です。県立高校の統廃合も都市部を中心として統合し、郡部の学校を残そうとしています。しかし、長い目で考えると人口減少の中で水道等のインフラを維持できるか心配です。そろそろコンパクトシティ等を考える時期かと思ひます。将来のまちづくりビジョンを描いた上で、学校の統廃合を考えていただきたいです。ただし、教職員の方のアンケートにあったように、余裕のある駐車場を確保をお願いします。</p>

162	人口減少はずっと前から言われていたことであり、そもそも合併もそれに対応するために行われたはず。学校の再編は合併した時点で真っ先に取り組むべき課題であったのに、これから未来を考えるとと言われても、再編するにもまた数年かかる。淡路市は早くから取り組んでおり、廃校の活用も進んでおり、参考にすべきである。地域住民の意見も大事だが、人口減少が進む中、再編はやむを得ないと思う。行政のリーダーシップを期待したい。
163	子ども達一人ひとりの多様性を認め合う学校。子ども達みんなで学び、ふれあい、共に高めあっていく学校。地域の伝統、文化を大切にこれからの洲本市を担っていく子ども達を、大人が支えていけるような学校、地域であってほしいと思います。具体的に、未来ある子ども達に市税の活用をお願いします。
164	少人数はきめ細やかに見てもらえるし、いい点もたくさんあるが、友達間のトラブルがあった場合、1クラスでは子どもにとって負担になることもある。 また、体育の授業など人数が必要な場合にやりづらい面もあると思うので、1学年にある程度の人数は必要だと思う。 統合すると校区が広がるので、スクールバスを用意してほしい。
165	先に学校編成された淡路市を見てきて、やはり小学校が無くなるということはその地域の過疎化や少子化を加速し市全体でも減る一方となり、利便性よい小学校などが児童数が増えるだけで、子育てにはメリットはなく市としても、マイナスな方向性だと思われる。 やはり少子化対策をし過疎化に歯止めをかける対策対応が将来的には望ましいと思います
166	学校は集中させるよりも分散させることを希望します。洲本市という淡路島のなかでも広い地域で、学校を再編統合するということは今まで通えていた距離よりも遥かに遠い学校に通わねばならない児童を生むこととなります。それは地域の格差を広げることになり、遠くから登下校する児童の貴重な自由時間を奪うことに繋がります。子どもを持つ世帯が、学校から遠い地域に住むことを避け、地域の過疎化が進んでしまう恐れもあります。 また、学校を集中させた場合トラブルが置きた際リスク分散ができず、児童や生徒の学業に支障をきたす場合もあるでしょう。 加えて、今後それぞれの地域が発展していった場合、新たな学校を作り直さねばならなくなります。人口減少に対して消極的になってはいかず、積極的にそれぞれの地域の活性化を図り、学校もそれぞれの地域に即しているべきではないでしょうか。 通学の地域格差、リスク分散、地域発展のため、学校の再編統合は今一度考え直すべきだと感じます。
167	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や学校への負担減のための、専門家の導入 ・子供たちの主体性を尊重した教育（自分で考えて行動できる力） ・地域住民全員で子供を育てていくシステム

168	<p>人生にとって大切な9年を過ごすので慎重に議論していただければと思います。子どもの減少により、少ない生徒での学校生活、複式学校になると思われる今、統合はするべきだと考えております。多くの生徒と集団生活や部活、体育祭、音楽会を通して人間関係、複数での生徒間での学びが大切だと思います。また、先生の不足で校長先生の授業など数年に渡り、臨時の先生の経験もしましたので、先生の確保も大切に考えていただければと感じます。まだまだ先に、もっと少子化が目に見えていると思いますので、目先ではなく遠い未来、必ず来る未来、宝の子供達の為に、洲本、淡路島の為にどうぞ宜しくお願い致します。</p>
169	<p>複数学級のほうが望ましいと考えるが、そうでない学校の良い所も挙げた上で議論すべきであるのに、行政側が統廃合ありきで案を提示するのは疑問に思う。</p> <p>保護者の立場としては、子供のことを一番に考えたいが、所詮数年間のことである。それに比べて、今回公表されていた教職員の方の意見を見ると、一番子どもたちのことを考えているのは学校の先生達だと感じた。こういった人達の意見を尊重していただきたい。</p>
170	<p>淡路市では学校の統廃合が進んでいますが、生徒数が多くなった結果、学校が荒れていると聞きます。例えば大規模校となったA小とB小は、5年生の自然学校で騒がしくけじめがなかったことから、他の学校の生徒たちが呆れていたそうです。また、B小の5年生は1クラス30人以上在籍していて、乱暴な男子が多く、以前から荒れているそうです。担任が長期で欠勤し、教頭や専科の先生が授業を代行しているそうです。荒れている男子達を先生達が叱るところから授業が始まるらしく、クラスの雰囲気は殺伐としているそうです。</p> <p>その反面、1学年1学級のC小は、アットホームな雰囲気で、とても平和で落ち着いているそうです。学校をまたいで勤務している先生やALTによると、淡路市は大規模校が荒れていて、小規模校は落ち着いて勉強に励む環境が整っていると聞きました。特にALTのネットワークは、神戸や姫路方面までの広範囲に渡るので、他校と比較することができます。統合された大規模校は評判が良くないです。</p> <p>このように、学校の統廃合は淡路市の失政だと思っています。洲本市も同じ状況になるのでしょうか？このままでは、子育ての不安から若者達が洲本市に帰って来てくれなくなるのではないのでしょうか。</p> <p>しかも、新しい校舎を建てる予算があるなら、今ある校舎の補修や、少人数クラスのための教員確保の為に使った方がいいのではないのでしょうか。ふるさと納税問題もあったことから、もしやまた業者との絡みがあるのではと不安に思う市民は少なくないのではないのでしょうか。</p>

	<p>例えば、東京の有名私立小学校は昔から少人数クラスで1学級2クラスというパターンが多いです。一人一人に目が届きやすく、手厚いサポートを受けられます。洲本市も各学校の生徒数が減っているのであれば、その様な方向性で手厚い教育のサービスを提供した方が、それを目当てに引っ越してくる子育て世帯が増えるのではないのでしょうか。例えば東京の杉並区は、都立西高の校区であり、質の高い教育が提供されています。その学区目当てに引っ越す方が多くいらっしゃいます。松庵小学校→西宮中学→西高が王道のルートだと言われています。</p> <p>洲本市には洲本高校があります。洲本高校の近所には昔から先生が多く住んでいらっしゃいますが、子育ての学区目当てに引っ越しているのではないかと感じておりました。第三小学校→青雲中学校→洲本高校が多いパターンかと思えます。地域の教育環境が整っていれば、それが子育て世帯を呼びこむきっかけになり得るのではないのでしょうか。</p> <p>このままでは、洲本市がより少子高齢化による過疎化進むのではと危惧しております。今の時代、少人数クラスで手厚く教育を行うのが主流の中で、時代に逆行していると思えます。若者達が洲本市に帰って来たいと思ってくれるような、明るい未来のある洲本市になってほしいです。ふるさと納税での大失態もありますので、大義を見失わず正しい市政を行なって頂きたいと思えます。</p>
171	<p>既存の学校が無くなり、新たな場所に学校が建設されてしまうと、通学距離が長くなり事故につながりやすくなります。また、合併することで人数が多くなると、教員側の対応が追いつかなくなり、面倒を見切れなくなる可能性があります。現に、淡路市の統合例では、こどもが以前より荒れています。子供の登校時間や距離の不安や、統合により他地域の子どもの交流による精神面の影響を考えると、その様な環境下で子育てをしたいとは到底思えません。</p>
172	<p>町村合併したときの懸念がモロにでた。五色は洲本の借金を背負うことになった。学校は、子どもが主たるもの。「望ましい」は行政や親ではない！こんな無茶な統合するなら、現在の洲本市の管理職を立ててお願い致します。他市の勤務から擁立することのないようにお願いします。これは、教職員人事にも大きく左右します。職員団体との相談も必要です。（他市の現職教員の意見として）</p>
173	<p>小学校、中学校では同級生としての友達をたくさん作って欲しいので、ある程度の統合は必要だと思います。大規模な統合は望みません。少人数でもアットホームな行き届いた教育を希望します。</p>

174	<p>子供の人口減少に伴って、いつまでも現在のまま、というのは正直難しいと思います。今回作成いただいた資料で具体的な数字を見ると改めて実感しました。とは言え、統廃合は児童数だけで決めるものではないと思います。小学校であれば学童保育、警報時の対応等、通学圏が広がってしまうからこそその問題をしっかり考えてもらいたいと思います。また中学校については部活動の事にも触れられていましたが、令和5年度から部活動外部委託に向けての移行期間だと認識しています。統廃合を検討する頃には部活動の問題はなくなるのではないのでしょうか(この問題に関しては洲本市や学校から具体的な説明がないため詳細は解りかねますが)。それよりも、統廃合により通学圏が広がる事でスクールバスをどのように運行するのか、放課後、子供達が塾や、部活動の代わりになっているであろう学校外の活動へ支障なく行く事ができるのか、学校だけを考えるのではなく、子供達が不安なく1日のスケジュールを送れるように考えていただきたいと思います。</p>
175	<p>担任の先生と学校の組織との乖離を感じます。担任の先生に委ねられる範囲は大きいですが、与えられる権限が少ないように思います。また、先生によって負担の大きさに差があり、保護者目線では当たり外れの感覚があると認識しています。</p>
176	<p>やはり状況に合わせて学校を再編することはやもえないと思います。ただ新しい校舎を1から作るのはいかがでしょうかと考えます。今ある中でシステムを工夫すれば可能だと思います。今までに例がないことにも挑戦する良い機会だと思うので実践してほしいです。これからの時代を先取った学校教育のあり方を期待しています。</p>
177	<p>子育て世帯への配慮がない今の市長の方針のままでいくと、子育て世帯はどんどん洲本市から出ていくでしょうし、さらに少子化は進むと思います。プレコン世帯もすでに離れていっています。学校編成を考える以前に、どうすれば人口を増やせるのか、子育て世帯やプレコン世代が離れていかないのかを真剣に考えて欲しいです。もうすでにこれから出産を考えているようなプレコン世代は洲本市から離れ始めていますし、早急にご対応いただければと思います。</p>
178	<p>少子化を逆に活かした教育に変えていくことも必要かと思います。諺に「出る杭は打たれる」とありますが、子供たち個人個人の特徴を伸ばして「出る杭」に育ってもらうことで、今の私たち大人が想像もつかないような事業を起こすなど、今後の洲本や日本の持続・成長につながると良いなと思います。</p> <p>スクールバスは必須だと思います。例えば由良から、加茂から、広田から、洲本バスターミナルに集まりそこからそれぞれに通う学校へのスクールバスに乗り換える、など。</p> <p>由良の子が全員第二へ行くのではなく、希望の小学校へ行くイメージです。</p>

179	<p>私自身、県外で大規模校に通っていました。たくさんの考えや人間関係が構築できたと思います。先生に依存することはありませんでした。淡路島は、車社会ですし、バス通学が可能であれば、たくさんの学童がいる環境の方が良いと思います。教員が減るのではなく、教員も一クラスに二人の配置など、逆に教員側も一人で対処せずにでき、メリットあると思います。</p>
180	<p>少人数の場合、人間関係が上手くいく子供は、個々のつながりが強くなり、先生の指導も手厚く充実した学校生活を送れると思います。一方で、クラス替えが無い学校の場合、人間関係にトラブルがあった時に逃げ場がなくなります。トラブルとまでいかなくとも、気が合う友達がいらない場合、6年間楽しくない毎日を過ごす事になります。また、マラソン大会の順位等、少人数過ぎると毎年実施前からほぼ順位が確定していて頑張る意欲がわきにくいと思います。</p> <p>少人数の変わらない人間関係の中では、個々の性格も決めつけられて見られたまま変わる事が難しくなりますし、コミュニケーション能力を培うためにも、クラス替えができる人数の学校が望ましいのではないかと考えます。</p>
181	<p>スクールバスはできるだけ国道を通ってほしい。</p>
182	<p>子供にとって登下校が負担のない範囲であるべき。</p>
183	<p>しっかりした教育を</p>
184	<p>少子化や教師不足の中、より良い形を模索していくしかないと思う。児童、保護者の意見は尊重されるべきではあるが市や行政の指針にある程度柔軟に対応して行かなければ未来は無い。</p>
185	<p>子どもたちが登下校を安全かつ便利にできるということをまず第一に整えてください。（無料のスクールバス、スクールタクシーだけでなく、通院などによる遅刻や早退、放課後の活動や通塾にも対応できるよう、バスや電車等公共交通機関の充実。通学路の整備拡充。学校付近の駐車場や送迎ロータリーの確保。災害時に避難所となるような公園やコミュニティ施設の増設。）</p> <p>過度な統廃合により、不登校児童生徒の増加や交通事故等の危険性が増します。怪我や雨天時には保護者が車で送迎しないと通えないなどの暮らしにくさは若い世代の流出を招き、高齢者施設や病院の撤退、にもつながります。生徒2人につき教師1人のような小規模校は、経費の面からも早く統合する必要がありますが。</p> <p>クラス替えのメリットが、登下校の不便さというデメリットに比べて弱すぎます。より良い教育をどうするかなどの議論はそれからだと思います。</p>

186	<p>学校は、地域のシンボリックな役割（コミュニティの場）があるので、使われなくなった時の地域の生活環境も（子どもの姿が見られなくなる）イメージして欲しいです。地域の上に学校が成り立っていると思います。スクールバスの運用も必要だと思います。</p>
187	<p>もう少し中学校の支援学級に力を入れてほしい</p>
188	<p>低学年のうち、少人数で先生の目が届きやすい方が良いかと思う。学年が上がるにつれ、競争意識や人間関係を考えると大人数の方が良いかと思う。</p>
189	<p>校区が広がることは、移動にスクールバスを導入するなど工夫が必要にはなるが、時にはオンラインを活用するなど、対面教育と合わせて授業プログラムを組むなど工夫が出来ると思う。またある程度生徒数を確保できることで、クラス替えで多くの子どもと交流できることや、人間関係の構築、やりなおしにも地点があり、クラブ活動も限定されない可能性もある。保護者や地域の人の意見を聞くことも大切、そしてこういう方向にするという丁寧な説明も大切。でも最優先されるべきは、子どもたちがより良い環境で学べること、そのためにもスピーディーに進めることだと思う。</p>
190	<p>いじめ対策については、保護者・学校関係者一体で防止の徹底を図ること</p>
191	<p>人口減少が進む中、非常に難しい課題である。小規模校の良さを伸ばして、地域に学校を残していただきたい。大規模の学校を望むのであれば、島外に住んでいたと思う。少しでも未来の淡路を支える担い手を育てるためにも、地域に学校は必要と考えます。</p>
192	<p>小学校の編成については、学童保育も合わせて考えないといけない課題であると思う。</p>
193	<p>学校を集約化して、建物にかかる膨大な維持管理経費を削減すべきだと考えます。各学校には生徒があまりいないのに、全ての学校を維持するために、改修費、修繕費、点検費用（エレベーター等）などの維持管理経費を毎年払っているのは、私達自身です。税金が建物に消えて行っています。本来は、子どもたちの教育や未来のために税金を使うべきです。大人は過去の学校ばかりを回顧して懐かしがりますが、現役の子どもたちにとっては大迷惑です。子どもたちを第一に考え、切磋琢磨できる多くの友達と一緒に学べる、クラブ活動の選択肢も豊富な、先進教育を取り入れた（集約化により捻出した税金を投入）、自慢できる学校に変わって行って欲しいです。</p>

194	<p>狭い島内で競い合うことを勧めるわけではありませんが、小中学校の統廃合に関しては本市は島内で最も遅れをとっています。この現実を真摯に受け止め、スピード感を持って臨んでいって欲しいと思います。言うまでもなく、一部の関係者のみの議論で解決できる問題ではなく、より多くのステークホルダーを巻き込んだ議論の場づくりを求めます。</p>
195	<p>小規模だとアットホームに見らがちで、良く言えばそうなのだが、悪く言えば窮屈で視野も価値観も狭くなり切磋琢磨する志しも低くなりそうで心配。知人2件、子供の環境拡大のため、就学を機にと島外へ、またもう1人は入学人数が少なすぎることを理由に神戸へ引越し転校して行きました。</p>
196	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校の間は生活する地域とのつながりを重視すべき。小規模でもよい。人間性も含めて、教員の質を高めることが必要。 2. 中学校はスクールバスの活用、ネット学習の活用を推進し、一定規模を確保すべき。職業選択を考えさせる授業も必要。 3. 洲本市立の小中学校だけでなく、私立の中学や、高校、他市の状況も含めて淡路島の子供たちをどう育てるかの観点が必要。 4. 健康でしっかりとした倫理観と体力を身につけさせてほしい。
197	<p>現在の学校数を維持することが難しいのは、だいぶ前から予測できていたはずなのに過去の市の偉いさんの約束？の責任にして何の行動も起こさなかったのが問題。洲本市の様な弱小自治体で多くの学校を持つのは財政的に無理でしょう。学校施設の維持費や教員、職員の人件費を考えるとスクールバスを出したほうが安くて安全ではないでしょうか？淡路市の方が昔からこの問題に取り組んでいることは尊敬に値すると思います。</p>
198	<p>任意加入であるはずのPTAが強制加入、強制引き落としされるのはおかしい</p>

199	<p>小学校。 1クラス10人程度でも2クラス設けてはどうか。 1クラスだと人間関係こじれると小学校なら6年間は長くつらい。 1クラス10人程度なら教員の生徒への配慮も現在より手厚くなるのかな。 中学校。 進学、就職など色々あり、多感な時期でもある。 1クラス、複数クラス、どちらの良さもあり、どちらでもいい。</p> <p>学校の統廃合、もとい、学校再編成。 元々の校区外からの通学と学童年齢により、 徒歩通学が困難となり、各家庭からの送迎又は通学バス巡回となる。 利便性や施設の規模や送迎の利便性などの立地、特色ある歴史を反映できる 場所となると小学校の場合、 洲本市として洲本第二小学校と地理的に都志小学校になるのではないか。 特に第二小学校の場合は、海、山、社会見学施設が徒歩圏内。 送迎ついでに商業施設にも便利。 他の小学校だと、施設規模の不足や接道が一步通行だったり狭道だったり。 また、一校100人超えてるなら再編不要。できるだけ校区（□生活区）地域 との交流パイプのリアルな太さは残しておいた方がいい。</p> <p>中学校の場合、地理的に洲本市街だと洲浜中か青雲中が母体の一校と、五色 中学校になるのかなと。 小学校の諸条件よりは全体的に薄まってもいいのかも。 共働き社会による幼児期の母子分離生活を受けての小学校教育、環境。 ビジョンとゴール、それに伴ういくつかの関門課題。 未来の子供達に負荷ではなく楽しい未来を。 命の大切さを感じてもらえる教育を望みます。 幼いうちに自己肯定感さえ定着すればどこでも生きていけるかなと思いま す。 また、学校再編とは関係ないが給食費無料にしてください。</p>
200	<p>子どもにアレルギーがあるので安全第一で学校生活を送れることが最も重 要。学校との連携を密に行いたい。 学童保育についても同じ。 学童保育がないと親の就労が現実的ではない（特に長期休暇）ので、希望者 は必ず利用できるよう整備してもらいたい。</p>

201	<p>私が受けてきた義務教育は、社会・会社に順応することに重点を置いていた。そして、昭和時代はそれで良かったと思う。</p> <p>しかし、労働力不足や国際競争力低下が著しい現代日本には高度な専門知識・技能の教育が絶対条件だと思う。</p> <p>もちろん、日本ならではの『和を以て貴しと為す』精神や郷土愛の醸成は今後も義務教育で続けて行くべきだが、歪んだ『長幼の序』や同調圧力などは排除しないとイケない。</p> <p>些細な理不便に対する過剰反応や感情論、既得権益など、小中学校の再編には障壁が多くあると思うが、もう待ったなしの瀬戸際にあるのは間違いない。</p> <p>できれば小中高の一貫教育による途切れない高度な教育の実現に期待したいが、まずは保護者・教職員からしっかりとヒアリングを行なったのち、行政の強行と誤解されるぐらいのリーダーシップで小中学校の再編を進めてほしい。</p>
202	<p>教員数はどうなるのか。教員の負担は増えるのか。遠距離になることで災害発生時の引き渡し等の難しさはないか。</p>
203	<p>校区内の生徒数に関しては、住宅環境の整備に拠るところが大きいと思う。例えば、市街地では分譲地等の土地がなく、人口が増える要素がない。行政の政策的なものが生徒数に影響を与えていると思うので、学校教育だけでなく、市としての今後数十年を見据えた先の姿も併せて考えていく必要があると思う。</p>
204	<p>再編で考えていただきたいのは、保育園等で出来上がったヒエラルキーがそのまま小中学校へと続いていく事への懸念です。</p> <p>教室内ヒエラルキーの継続が悩ましいと考えます。</p> <p>五色地域ではこども園で一つになりますが、小学校も一校になるのは避けてもらえればと思います。</p>
205	<p>生徒数の人口減は避けられず、多くの生徒と交流することが難しくなっているので、ICTを活用した他校との合同オンライン授業を行うのはどうでしょうか？(既に実施されていたら、すみません、、、)体育や音楽は難しいですが、1クラスあたりの生徒数を少なくし、普段は少人数でみんなが仲良く学校生活を送れる。時には他校生徒と触れ合う機会(オフライン、オンラインともに)を設けることができる環境がいいなと考えます。</p>
206	<p>クラス替えができる程度の人数の確保。洲本市内であれば希望する学校に行ける選択制度や住民票を移さなくても転校できるようにしてほしい。クラブ活動が年3回ではなくきちんと機能できるようにしてほしい。広田も洲本市と南あわじ市の組合立のはずだが、洲本市としてはどう考えているのかも知りたい。</p>

207	<p>校区毎に各地域との関わりは学生、地域住民双方にとって必要。効率性を求めるだけで判断すると住民の学生への関心が薄れやすくなり防犯面や伝統行事継承等にも影響が出てくる。地域も冷え込むこととなるため明石市のように行政がもっと本腰を入れて魅力ある子育て策を発信したり企業誘致等の人口増加策を講じるべき。</p>
208	<p>子どもたちには、沢山のひとと触れ合い多様な経験を積んで欲しいと思います。</p> <p>たくさん人がいる事で、色々な集団に属する事ができます。</p> <p>メンタルヘルス上、逃げ場があるという経験は大人になるまでに積んでほしいと思っています。</p> <p>大人になった時の可能性が広がる経験や、しんどい時に逃げ場がある経験は、子どものうちに積み上げて欲しいと思いました。</p>
209	<p>納に住んでいますが小学校や中学校は広田になるようです。ですが保育園などは年少以下は洲本市の方でとのことでした。</p> <p>そうするとせっかく保育園や幼稚園で作ったお友達と同じ小学校に行けません。</p> <p>もしくは我が家の場合では広田保育園にということになると上の子との兼ね合いで卒園前に転園する必要もでてきます。</p> <p>かといって年少までに行ける支援センターなども南あわじ市のセンターは利用できずお友達作りやママさんのネットワークを作るのがとても困難に感じています。</p> <p>学校再編の問題とは少しズレるかもしれませんが、人数減少の解決の一つとして小学校を同じ洲本市内の小学校か、せめて選択できるようにしてほしいです。</p>
210	<p>少数学級のほうが個々に先生が目が行き届くし、細かな対応が可能だと思います。地域との繋がりが強い学校もあり貴重かと思う。</p>
211	<p>お金や投資の勉強、会社設立の勉強など、実社会で役に立つ基本知識を教えてもらいたかった、と今になって思います。詰め込み教育の結果が今の日本の状態です。</p>

212	<p>洲本第二小学校は児童数がかなり少なくなってきました。しかし、山と海が近く、お店や役場や図書館も校区にあります。運動場も広いです。小学生の学習や活動には大変便利です。スクールバスを考えているならば、人口の多い場所より今スニ小がある場所を生かすのが良いかと思います。</p> <p>校区が広くなればいろんなところで生活する子が集まるので地域学習も浅く広くになり、ふるさと愛をはぐくむのも難しいと思いますが、それは広い校区なのでやむを得ないしむた新たに工夫してできるところだと思います。</p> <p>自然に触れたり社会の仕組みを学習したりするのに、洲本第二小学校の場所は適していると思います。</p> <p>子育てにもいいと思い、小学校の六年間に重きを置いて、海岸通に引っ越してきました。全ての小学校を考えましたが、自分の足で移動できる範囲にいろんなものがあるのはここくらいです。中学生にもなればある程度の距離は自分で行けます。</p> <p>この学校の場所は生かしてほしいです。</p>
213	<p>七年前に淡路へ移住してきた者です。これから小学校へ上がる子どもがいます、子どもの教育環境はそれぞれの多様な意見が尊重されるよう、きめ細やかな対応が必要だと思いますが、</p> <p>子どもたちが一番影響を受けやすい教師の皆さんの負担が減るようにして頂きたいです。疲労度MAXの先生に子どもを預けたくはないのが正直なところ。</p> <p>教師の方の負担を減らし、淡路の田舎だから出来る地域交流の場作りや、学校外の外部サポーターの力も必要だと思います。</p> <p>また、不登校児童が増えてると思いますが(自分の周りにも結構いる)、学校や市役所でもそうした児童や保護者の相談がきた場合、『勝手に探して』ではなく、〇〇というフリースクールが〇〇にある等(洲本市に限らず淡路市や南あわじ含めて)、地域の子どものとして垣根を越えて適切にアドバイス出来る柔軟な対応をして頂きたいです。</p>
214	<p>今回のアンケートはありがたいと思う一方で、自分の子どもが学校に通う頃にどうなっているのかがとても気になる。自宅から学校への距離は親の仕事のあり方にも関わってくるので、どっちつかずが正直一番困る(頑張っ考えてくださっている方々、申し訳ありません)。どうせなら学校再編は段階的に早く進めてもらって、適正規模校が増えることが望ましいように思う。決定事項をわかりやすくアナウンスしてもらいたい。</p>
215	<p>私の小学生時代は2クラスあって運動会でチーム分けできていたが、下の学年が1クラスしかなくクラス内でチーム分けをしていたので学校行事を楽しむために2クラス以上はキープできたほうが良いなと思った。そのためには母校がなくなるのは寂しいが、ある程度の再編は必要かと思います。ただ、校区が広がってしまうと子供達が歩いて通えなくなったりするのは親の負担になるし、子供の足腰のためにも良くないと思うのでよく考える必要があると思う</p>

216	<p>一定の再編は誰もがやむを得ないと感じていると思いますので、多くの意見を生かしてください。</p>
217	<p>複式学級になるほど子どもの数が少ないのも多様な考えに触れたり、多様な人間関係を築いたりする機会が減ってしまうと思うし、逆に人数が多すぎても個別最適な指導が行き届かないのではないかととも思う。小学校では20人程度の人数で学習できるのが最適ではないかと個人的には感じる。</p>
218	<p>複式学級は避け、その学年における授業を行ってほしい 少人数学校を合併し、子ども達の人間関係を広めてほしい</p>
219	<p>時間の問題だなというのが、正直な思い。やるなら市が体力のあるうちにと 思う。小学校が地域から無くなると、確実に地域が廃れていくのを行政が後 押しすることに結果になる。人口減少という現実を考えると、水道管等に しても、すべてを更新するのは不可能である。コンパクトシティ等の市のビ ジョンが必要となる。そこまでの覚悟が無いのであれば、学校の統廃合をせ ず学校が地域のコミュニティの核となるような取り組みを進めることが良い と思います。</p>
220	<p>古い学校を拠点として再編をしてほしいです。比較的外観が古い加茂小学校 では、男児が老朽化により汚い個室トイレを使用することが心理的にでき ず、体調不良を装って帰宅していると通学者の保護者数名から聞いたことが あります。和式トイレを順次洋式トイレに移行している最中だとは思いますが が、施設の老朽化に伴い児童が嘘をついてまで学校生活を送っていることを 大変残念に思います。加茂小学校に関してはトイレ以外でも関係者から老朽 化に関して不満があることを聞きます。児童・保護者・教職員の皆さんが過 ごしやすく安心安全な校舎に建て替えなどしていただくことを地域住民とし て望みます。</p>
221	<p>昨年5月に移住して参りました。未就学児の子どもが居ますが、まず公立の 保育園に直ぐに入れませんでした。住んでいる地域の施設に通えないのは、 保護者としても負担であり、移住者を多く要望しているのであれば、一概に 統合する事が善しとは思いません。 教育機関でも雇用の促進や職員の配置など、先に着手する箇所があるのでは ないかと考えます。 一方、地域の施設に通いにくい子ども(校区外通学)に対しても、現在の形態 は有効であるのかなと感じます。</p>

222	<p>今の学校は生徒数の問題なのか分からないが教職員の数が少なく、生徒1人1人に応じた対応がはっきり言って出来ていないと感じる。多様化しているこの時代、子どもの未来と言うなら、こどもの成長期の貴重な時間に丁寧に対応出来る職員数をまずは確保してもらい、考え方もバージョンアップしてもらいたい。</p>
223	<p>将来は少子化の他に教職員の減少も懸念されているので統廃合はやむを得ないと思う。一方で学校統廃合するにあたって学校から遠方になる児童生徒に不利にならないように配慮していただきたいと思います。学校統廃合するにあたっては淡路市・南あわじ市の事例も参考にしてほしいと思います。</p>
224	<p>小学生の内は、心も体もまだ未熟なので、今のままの地域に囲まれた学校で生活するのが望ましく、中学生になれば、視野を広げる事や人数減少による活動制限を避ける為、少ない児童数の学校同士などで統合も良いのではと考えます。ただ、人数の少ない状況での生活に慣れているので、いきなりの人数多い学校との統合は、不登校を増やしてしまう恐れがあるのかな、と危惧します。</p> <p>災害時は、道路が分断されてしまう地域があり、統合された場合には、中学生は家族なしの避難生活出来るかもしれないが、小学生は家族が居ないとかなり難しいと思われれます。</p>
225	<p>洲本市はそもそも、教育に予算を使っていない。そこに誠意は感じないのに、洲本市の教育を考えましょう、というのはいかがなものか？南あわじ市、淡路市、そこと大きく違うのは、人口減少は同じ問題を抱えているが、教育に関する考え方がまず違う。洲本市の子どもたちのために、教育予算を投じるべきである。他の2市に比べ、予算も与えられず、限られた環境の中で学ばざるを得ない、子どもたちのために洲本市は何をしてきたのか？現場の教職員の工夫で、洲本の教育は成り立っている。お金がない、お金がない、と子供はエアコンもない環境で学習しており、ICT環境も、他の2市とは遅れをとり、それで統合が必要では？と持ちかけるなどと、洲本市の対応には呆れる。ここできちんと誠意を持った対応をすべきではないか？</p>
226	<p>学校再編に伴って、児童の通学の心配が出てくるので通学バスを市で運営する等、どこまで市民の意見に寄り添えるか考えて欲しい。</p>
227	<p>私立の蒼開中学校は入れないのか？ 公立ではないが、淡路島唯一の私立学校も活用したらどうか？ 卒業生で思い入れがあるからでもあります。</p>

228	<p>小学校は大部分の子どもが徒歩で通学できるようにすべき。登下校にバスでは地域の良さや、地域住民との交流が希薄となり、地域の教育力も低下。子どもの声が聞こえなくなった他市では、地域が寂れてしまったとの声も多く聞かれる。</p>
229	<p>(現在、子どもは広石保育園の年中さんです。) クラス替えが～というレベルの話ではなく、学年に5人しかいません。男女数の差もあるし、体育の時間にできるスポーツも限られるだろうし、もともと少人数が良いとは思っていましたが、5人はあまりにも… 地域のみなさんも、R5年に〇〇小学校で何十人しかいません、という言い方ではわかりにくいのかもしれません。5人しかいないと言うと驚かれます。昔はめちゃくちゃおったのに、と。なぜもっと早く再編しなかったのだろうと思っています。移住者を増やすと言っても全国少子化です。現役子育て世代の方達の意見をたくさん聞きたいです。そしてみなさんが良い思う良い方向に、早く進めばと思います。</p>
230	<p>私の子供のクラスは1クラス35人なのに、隣の学校は1クラス10人以下と話を聞き、学力の差、教育を受ける環境が違いすぎることに不安を感じていました。これから先のことを考えて、再編していくのは避けられないと思うと同時に以前から子供が減ることは目に見えていたのに、もっと前から対策を考えることはできなかったのか、もっと早くから再編の話が出てもおかしくないと思うところもあります。行動が遅すぎる印象を受けましたがこれから先のことに関しては迅速に対応していただきたいと思います。</p>
231	<p>学校の統合とスクールバス運行をセットにすることが大切だと思います</p>